



(2012年 望年会)

CONTENTS

新年 みんなの寄せ書き	2 頁
新年の抱負など	4 頁
堀部正／山海珍味／榛澤昌高／NAO／Y・M／ほっとスペースのボブ・ディラン リネカー／堀部正／UFO／孫悟麴／しゃのよかいち	
写真で振り返る 2012 年	7 頁
特集 特定非営利活動法人「ほっとスペース八王子」 発足にあたって	14 頁
有川満伸／堀部正／佐野貴則／NAO／ ほっとスペースのボブ・ディラン／よかいち／リネカー／山海珍味	
特集 「いじめについて」	18 頁
ほっとスペースのボブ・ディラン／山口咲子／リネカー／よかいち 夕暮れ時のスズメバチ／菊池春海／孫悟麴	
特別寄稿	
たまにはカレーの話でもしてみますか	22 頁
孫悟麴	
サマーソニック 2012 に行って／映画会について／ 映画短評／英国のロックについて	24 頁
ほっとスペースのボブ・ディラン	
長崎研修旅行レポート 27 頁	／Y・M／よかいち
日々雑感・ほっとスペースに入会して	28 頁
菊池春海／山口咲子／けあまり／夕暮れ時のスズメバチ	
どうする、どうなる障がい者制度改革	29 頁
／孫悟麴	
短歌	30 頁
／孫悟麴	
短編小説 「ダンシング・クイーン」	31 頁
秋山 健太郎	
原稿募集・編集後記	36 頁

SSKS



ほ っ と

「ほっとスペース八王子」ニュース

2013年1月号

140・141号

定価 100 円

発 郵 E ホーム F 電 編
便 M ペー A 集
行 a il X 人
所 替

八王子市八幡町一三二ふくしまやビル二階
「ほっとスペース八王子」(事務局：堀部正)
〇四二一六二八二一三九
〇四二一六二〇一七八六
http://homepage2.nifty.com/hotSPACE/
CXB01672@nifty.ne.jp
〇〇一八〇七二六二四六「ほっとスペース八王子」
世田谷区砧六二六二二
障害者団体定期刊行物協会

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

2013年 新年おめでとう ござい ほっとスペース!

リネカー
下良くしたいです。

おんちかたついでだ、なか
佐野 全てまじこなるよう

今年こそ 宝くじの
菊池 まさゆみ、うん

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

夏菜

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

今年はお目立たぬよう、
沈まぬよう、要領よくと
言えは変態スガ、よろしく
お願い致します 孫悟題

昌生

みんなが自信に 満ち溢れる年にしよう

堀部 正

今年の4月から新体系で「ほっとスペース八王子」は再スタートします。

現在、中心的な仲間たちを軸にして、創立時のような活気を持って準備が進んでいます。

スポーツの会の時のような、「障害者自立支援法」撤廃運動の時のような失敗をしないように、僕自身の自戒を込めてみんなと議論しながら進めていきます。

中心的な役割を担うことで仲間からも地域や行政、家族たちからも一目を置かれ、注目され、自分の人生の中で経験したことの無い充実感、達成感も味わいます。信じられないような自信も身に付き始めます。下手をすれば自分を過大に評価する過ちも犯します。

しかし、孤立せず、あくまで協力して物事を進めることで、みんなで支え合い、お互いに注意し合うことでそういう過ちも笑い話の種に出来ます。

今年はそういう過ちもたくさん起きるかもしれませんが。

みんなが自信に満ち溢れる年になればと思います。

ただひたすらポジティブに

山海 珍珠

二〇一二年を振り返ると、将来が見通せなく、なんとなく不安、どっちかといえば暗い世相であったように思う。思えば21世紀に入ってから数年間でこのような状況が定着したような気がする。

ている。(誰からか)バシャルルからです)多くの人は現時点でこのような予測を信じることはできないかもしれないが、三〇年後、四〇年後の未来から現時点を評価すればそうなるというのが、この貴重なメッセージの主旨だ。ということ、今年はまだひたすらポジティブに、ポジティブに、ポジティブに歩いていきましょう。

まだまだ覚えなければならぬことがたくさんあります。今年、ほっとスペースが就労継続支援B型に移行し事務作業も増えるので、仕事にも慣れるようにしたいと思います。当事者であるがゆえに至らないこともありますが、メンバーと対等な立場で、共感・共鳴して仕事が出来るように頑張りたいと思います。

ただ一日一日を大切に

NAO

新年明けましておめでとう。

今年は蛇年。私の干支です。

12×1112、12×2224、

12×3336、12×4448、

12×5560。

さて私は何歳でしょう。年は忘れましたがでも干支は覚えてます。えーと幾つだったかな。

抱負やいても特にないね。無病無災といっても無病とは言えない。三病息災といったらどうか。

家内安全、世界平和。飢えのない世界。食べられるだけ幸せです。やりたいことはたくさんあるけど、世の中ままだらないね。ただ一日一日を大切に過ごしたいな。



仕事に慣れるようにしたい

榛澤 昌高

昨年4月から、ほっとスペース八王子にお世話になっているのですが、あっとい間の8ヶ月でした。

雰囲気にはなれましたが、仕事は、ま

明けまして
おめでとうございます。
～陰ながら支えたい～

Y・M

新年を皆様と迎えられたいへん嬉しく思います。

皆様のご活躍を陰ながら援助していきたいです。

ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

「新年にあたって」
～ジョギングでスリムになるぞ～

(ほっとスペースのポップ・ティラン)

新年あけまして、おめでとございます。村上春樹氏の本を読んで啓発されてしまいました。今年は是非ジョギングやランニングを始めたいと思います。その前段階としてウォーキングもしたいと思います。メタボ防止の指導でもウォーキングは推奨されています。僕もウォーキングは既に始めています。

ウォーキングを解説しているDVD ももらいました。ジョギングのウェア

や靴は六本木で売っています。そして出来れば、ランニングの大会に出場できればいいなあと思っています。

一般就労をめざって

リネカー

今年は、職業、アルバイトでも構わないので、何かしらの仕事をしたいと思っています。しかし、現実是非常に厳しく、

二〇一三年、明けまして
おめでとうございます。
～穏やかに過ごしたい～

堀正明

私は、江東区に住んでいましたが、二〇一二年五月一六日に、八王子市の高月病院に措置入院になりました。

開放病棟を経て、二〇一二年九月一日に



今までに面接に十社応募しましたが、全て不採用でした。この不景気の時代に仕事に就く事は非常に難しい事ではあります。が、ほっとの臨時の仕事である、ラー

メン屋の掃除の仕事等をやりながら、引き続き粘り強くアルバイトの仕事を探し続けて行きたいと思っています。

退院、現在は病院付属のグループホーム「ルーエ」に住んでいます。

入院に至った経緯は色々あって、思い出したくもない舐法行為・迷惑行為があったのですが、二〇一二年三月一日の東日本大震災・原発事故とそれに伴い低調に終わった統一自治体選挙(四月八日・都知事

選挙、四月二日・江東区長・区議会選挙)で、私の頭が、わやくちゃになった、狂っても不思議ではなかったと思っています。

高月病院の入院中から「外出」の形で「ほっと」に出入りし、昨年の九月から正式に会員になりました。

グループホーム「ルーエ」の入所期間は平均二年と聞いています。私は「ほっと」を利用しながら、与えられた条件の中で全力で生き抜く決意です。退所後は江東区に戻り、单身生活をしながら、近くのライクア・作業所を利用したいと思っています。

原稿を書いている時点では、都知事選・総選挙の結果の告示・公示前ですが、私は意中の候補・政党を決めています。これらの方々が知事・議員として活躍して下さるのを感じると共に、生活保護の切り下げを始めとする攻撃のなかで、障がい者・弱者に「やさしい」政治をする事を願っています。

私は大分市の出身で、一年浪人して一九九一年に東京水産大学(現・東京海洋大学)に入学しました。もともと希望の専攻でなかった事に加え、寮内(全寮制ではありません)での、飲み会についていけず、次第に大学の方から足が遠のきました。

ところが、住所が港区で品川駅徒歩一〇分の寮のアクセスの良さで、様々な所に遊び歩きました。アイドルの追っかけにも行きました。

しかし、一番多く行ったのは政治関係の講演会・集会・デモです。一九九三年七月生まれて初めての総選挙は「政治改革」が叫ばれ、現在のところ最後の中選挙区制の選挙で「東京二区」という看板選挙区の中で、これほど自分の一票を悩んだことはありません。

細川連立政権が成立しました。私は「各議員の選挙区事情が絡むので、小選挙区制は絶対に実現しない。」と踏んでたのですが、当時、小選挙区制に表だって反対していたのは共産党だけで、辛い時期でした。

一九九四年、一日休学して大分に帰り、運転免許（普通一種・中型二輪）を取得して、のんびりアルバイトをしていました。

翌一九九五年復学したのですが、一〇月の前期定期試験の終了後、前年アルバイトでお世話になった方を訪ねに九〇〇〇のバイクで国道一号で一五時間かけて大阪市に向かいました。その時に頭がおかしくなり、両親や、お世話になった方に迷惑をかけ、都立府中病院神経科に二ヶ月入院しました。

翌年一九九六年はアパートを借りて復学したのですが、卒業に見合う単位の取得が見込めず九月に退学しました。

大分にいる間は色々アルバイトをしたのですが、なかなか面接に通らず、採用されても病状ゆえ仕事が続かないでいました。

そんな中、ネットが普及すればするほど、逆に目と目を合わせて話をする事が大事だ、東京に戻りたいと思うようになった。

「なかま」の紹介で二〇〇六年五月一〇日、江東区のアパートに入居し、今回の入院までの五年間生活をしてきました。

水産大に合格せず他大学に行っていたら順調に就職できたと思うこともありますが、



ですが、今こうやって東京で生活しているのも、大学の寮に五年居座ったからだと思っています。

江東区に戻ったら：また色々、講演会・集会・デモに参加したい気も山々ですが、一人の「病」者が出来る事には限界があるのを自覚して、穏やかに過ごしたいと思っています。

「ほっと」の会員の皆様、そして読者の皆様、どうか宜しくお願い致します。

預金ができるように

UFJ

あけましておめでとうございます。預金できるようにがんばります。

新年のあいさつ

しゃの よかいち

あけましておめでとうございます。昨年を振り返ってみると、運営委員として、ほっとスペースス八王子のNPO法人法内移行の書類を作成を手伝いをしたり、就労継続支援B型の作業所となる為、工賃仕事を増やす事に専念してました。

ただ工賃仕事を取ってくれば良いと、いう訳ではありません。長時間働くのが難しい会員さんや病状が出て発作を起こしてしまい苦しんでしまう会員さんがいます。助け合いながらみんながこころ苦しくなく働けるようなこのケアができる体制を作らなければなりません。

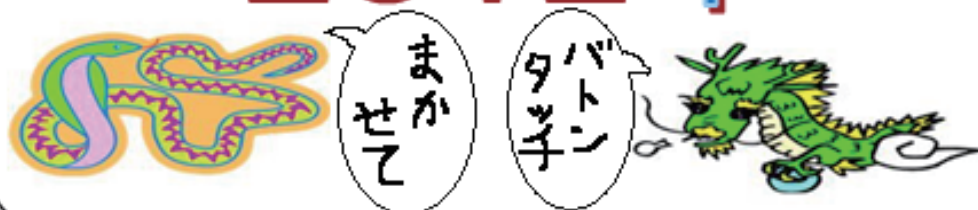
本当に大事なことは一人一人のメンタルケアです。そしてプログラム活動や工賃仕事をこなしていきながら、自分の意識を高める事、労働の喜びを感じたり工賃仕事を長続き出来るようになる事。そのためにはもくらはいつもいっしょに働いたり、活動している仲間がお互い励まし合って助け合っている。そして街を愛し、いろいろな街にプラスになる恩返しができる事を思

目立たぬように貢献

孫悟超

新しい年になって、前途不透明な部分も多々ありましたが、今年も、やや後づに立って、目立たないように貢献したいと思っています。あいさつ文は、長くても不粋短くても不粋、なかなか難しいですね。

写真で振り返る 2012年



いながら、みなさまと感謝報恩のほつとスペース八王子と街の関係を作り、地域のプラスになる作業所であるようにと思います。
そして新年の挨拶としてみなさまよろしく願います。

**2012年を、
行事と写真から振り返ります。**

1 月
新年会（四日）



新年会では、お雑煮を作りました。（写真は、別の日の夕食会のものです）

日帰り旅行（十八日、箱根）



箱根湯本富士屋ホテル前でパチリ。



豪華な料理とスイーツに思わず舌鼓。

2 月

八障連ホウリング大会
（六日、高尾スタレーン）



熱気と活気と珍プレーと豪華賞品



名人芸を十分に堪能（新宿末廣亭）



日帰りの旅行（十五日、末廣亭）

平日にもかかわらずこの熱気



みんなで記念撮影。（払澤の滝）

日帰りの旅行（二十二日、吉野梅郷）

3月



トリの挨拶。ありがとうございました。



梅郷への道中。実に楽しそうです。

昭和情緒の残る屋台にて
（青梅吉野梅郷）



ここからは、吉野梅郷の満開梅をご堪能



到着～♪



でも実は、食事の時間が一番の楽しみだったりして。（黒茶屋の懐石料理）



実り多き講演会。勉強になります。

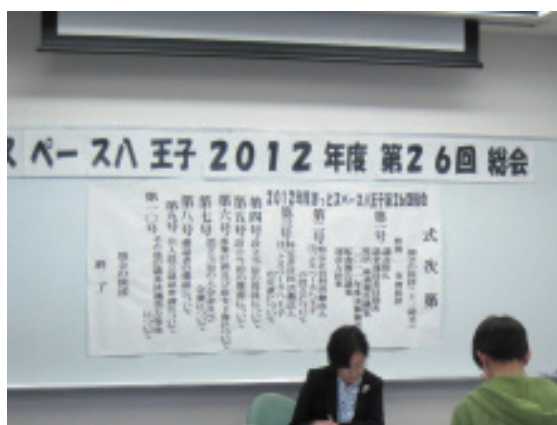
連続講演会
（二八日、クリエイトホール。
引きこもりの家族支援）



花に囲まれて…（実は結構売れました）

香華販売

（二八日、緑町霊園）



（5日、クリエイトホールにて）

4月
臨時総会



NPOへの一里塚。詳細は 139 号にて。

ほっとスペース総会
（三一日、クリエイトホール）



スカイツリーができて、東京の名所であるには変わりありません。

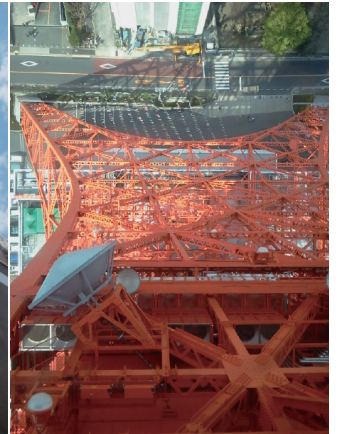
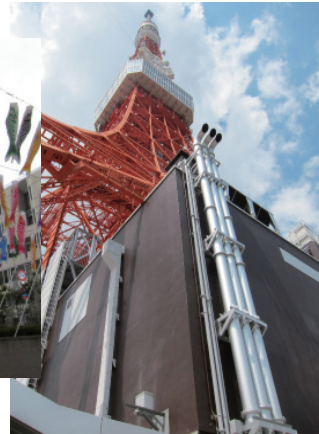


日帰りの旅行（一八日、東京タワー）



お花見（9日、富士森公園）

とても見頃でした。



とても眺めがよろしゅうございました。（スカイツリーもちらりと…）



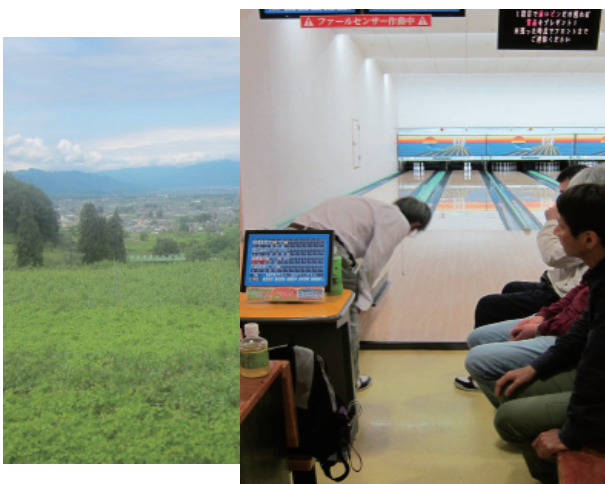
講義の後は、恒例のプレゼンテーション。



白熱した講義。

連続講演会
（二八日、クリエイイトホール。
うつについて。講師・源田圭子先生）

5月



白熱したプレーもいいですが、こうして和気藹々とするのもいいものです。

ボウリング大会
（二一日、高尾スターレーン）

6月



日帰り旅行

（一二日、石和温泉）

電車で揺られ、一路甲斐路へ。



駅から温泉へ直行…そして恒例の豪華料理。

香華販売

（一五・一六日、緑町霊園）

7 月



そして…みんなでお土産を買って帰ったということです。

スリランカから助っ人をお呼びして、本格的スリランカ風スープカレーをロティ（スリランカ風ナン）と一緒に。今後のメニューに活かしたいです。（関連記事が、一二頁に掲載されております）



みんなでカレー
（十七日、ほっとスペース内）

いつものカレーライス…ではなく、

連続講演会

（二六日、クリエイトホール。
精神病院の歴史と精神病者をめぐる法
律と制度、講師・岡田靖雄先生）



貴重な話とスライド写真でした。

この日の講演で使用されたスライド
写真は、歴史的資料価値の非常に高い
ものでした。後日、先生にお願いして
スライド写真の一部をお借りし、ア
イプ化することができました。前号
でも一部を掲載しましたが、いずれ公
開できる機会があればと思います。

8月

長崎研修旅行

（七、九日。関連記事

が二七頁にあります）



丘と港の街長崎。



羽田から空路、長崎へ…



原爆の惨禍を伝えたり、犠牲者の慰霊をしたり、反戦平和の希求は大切なのです。



日帰りの旅行
（八日、秋川溪谷でバーベキュー）



やはり、食事の魅力には敵いません。（長崎卓袱料理）

八王子から、電車、バスを乗り継ぎ秋川森林コテージ村へ…



チキショー、ニクバカリクイヤガッテ（編集者談）



相変わらず、水清き秋川溪谷でした。



見晴台から山々望む…

（二〇日、高尾山）

日帰り旅行

10月

この講演では、従来の精神医療の固定概念に対する問題提起としてとても勉強になる内容でした。精神医療に関しては、将来の適切な医薬品の処方といった重要な内容の話も聞くことができました。

（二四日、クリエイトホール。発達障害について。講師・片岡聡先生）

連続講演会

（二〇・二二日、緑町霊園）

香華販売

9月



（二三日、八王子労政会館）

望年会

12月



薬王院にて一枚。

（二三日、高尾山）

日帰り旅行

11月

ほっとスペースNPO認可
十月二日付、都知事の名の下に於いて、正式にNPO法人としてほっとスペース八王子は新出発いたします。



年のめはみんなでお寿司を食べて…と

納会（二八日、ほっとスペース）

今年はさらに充実した内容にしたいと思っています。ご期待ください。



搗きたてのお餅は旨い！（普通の真理）

（二七日、ほっとスペース）

もちつき大会

例年にもれず、今回も歌って踊って飲んで（但しアルコール抜き）食べての楽しい会になりました。

「ほっとスペース八王子」の役割は、守ります。

NPO法人の認証にあたって

理事長 有川満伸

「ほっとスペース八王子」という名称で活動をはじめてからでも18年、前身の「闘つ蟻の会」「八王子・赤堀さんと共に闘う会」から通算すれば、もう34年くらい経ったでしょうか。

その間ずっと変わらない「ほっとスペース八王子」の活動の大切な基本原則は、会員である「精神病患者」が中心となって運営する当事者主義ということです。

今年10月に、「ほっとスペース八王子」は特定非営利活動法人(NPO法人)として東京都の認証を受けましたが、あらたにNPO法人として「ほっとスペース八王子」が歩みはじめても、当事者主義の基本原則は変わりません。もちろん定款に書かれる法人の目的などは、特定非営利活動促進法の条文の記述にあわせて「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」とか「職業能力の開発又は雇用機会の拡充を図る活動」とかの何やら堅苦しくて面倒そうなものになっています。でも、当事者主義の基本原則は変わらないし、会員のみな

ながほっと心安らげる場をつくるという「ほっとスペース八王子」の役割は、しっかりまもっていかなければならないものです。

NPO法人は、団体が契約の主体に

特定非営利活動法人

「ほっとスペース八王子」

発足にあたって



「大輪の花」を皆で咲かせましょう!

とスペース八王子」の役割を、ゆったりした気持ちで、担い続けて行きましよう。

NPO法人認証にあたって

副理事長 佐野貴則

昨年十月、当所はNPO法人「ほっとスペース八王子」としてまた新たに出発することとなりました。障害者自立支援法という制約の中での移行ですが、精神病患者のみならず包括的な障がい者支援団体として、更なる発展を目指してまいります。ここでは、役員や有志会員の声を掲載いたします。今後も役員、職員、会員一体となって、課題に立ち向かい、壁を乗り越えるべく努力してまいります。これからもご支援よろしくお願い致します。(編集部)

なれたり、団体が資産をもてたりするので、会の運営に役立つことも多々ありますが、経理や各種の手続きに厳正な事務処理が求められます。そのため、これまで以上に会員・職員が力をあわせてしっかりと会を運営して行かなければなりません。

「精神病患者」の安心できる居場所をつくり、「精神病患者」の側から社会の変革をはたらきかけていく。そんな「ほっ

今回、NPO法人格を取得する事ができました。

就労継続支援B型という制度のために、月に工賃1人当たり平均で3千円を稼がないなりません。

今まで「精神病患者」の風聞の居場所としてプログラムをこなし、こころの

ケアに繋がる場所として運営を行ってきました。工賃仕事もあるのですが、やはり一人当たり月一五〇〇円くらいしか稼げません。今後仕事を増やす事に専念していきます。

市や都への相談、また民間の会社への営業も進めている最中です。

みんなの体調やなんでも背負いこも
うとする会員さんを見極めながら、仕
事があるから飛びついて潰れてしまっ
事をやはり懸念しています。

みんなの体調管理、精神的安定が一
番大切に思います。それらも考慮し、
みんな長い人生にプラスになる仕事を
持つてくれるよう力を注ぎたいです。

そして国や都や市の給付金を頂くこ
とになります。社会に恩返し出来るよ
う、地域のコミュニティとして人を
粗末にしない、そんな人々の辛さから
離れてほっとするような団体に成長し
ていけたらと思います。

人々が八王子の街を好きになるよう
な、そんな手助けが出来る事に近付け
て行きたいと思っています。

悔しいけど「障害者自立支援法」内で何とか頑張ろう

理事 堀部 正

とうとう「ほっとスペース八王子」はNP
〇法人となり、「障害者自立支援法」に基づ
いた事業所として再生しようとしています。

一ヶ月一人あたりの工賃平均額が三千円を
越えることや利用者が十七人は確保でき
ないと運営がままならないという障壁を抱え
ながらの運営が可能なのか。様々な課題が立
ち並んでかっています。



特定非営利活動法人

『ほっとスペース八王子』

発足にあたって

ないと運営がままならないという障壁を抱え
ながらの運営が可能なのか。様々な課題が立
ち並んでかっています。

八王子市障害者福祉課の協力もあって
何とか工賃問題はクリア出来そうですが、新
規入会者にはやはり工賃作業はしんどいもの
です。いまだに部屋引きもついていた仲間
退院直後の仲間にはいきなり工賃作業を勧め
られても簡単ではありませぬ。やっこの思い
で部屋から出て、あるいは病院から退院して

「ほっとスペース八王子」の玄関に入るだけ
で精いっぱい仲間が工賃作業をやっての
ほがです。

まずは、先に入会している先輩の仲間たち
とのコミュニケーションを築くことだけで入
会となることが現実だ、行政にもそつ
う現実を受け入れて欲しいと思います。「病
体験を持つている僕らには誰でも理解できる
問題です。

また、工賃作業することを目的に「ほっと
スペース八王子」を利用してない仲間もい
ます。居場所を確保したい仲間、自分探しの

仲間には工賃は二の次です。また、病気のた
めに調子を崩して工賃作業をしたことも出来
ない仲間もいます。

そいつ仲間が工賃仕事が出来た仲間が気
を配りながら「ほっとスペース八王子」に
居て、肩身の狭い思いをして、また再発した
り、自分の部屋引きもつてしまいかねま
せん。

当事者で運営する「ほっとスペース八王子」
では工賃作業を始めるといって、工賃作
業を提供してくれる業者との交渉、工賃作
業をしたくても直ぐには体がついてこない仲
間に丁寧な作業方法や作業手順を教えるこ
と、また工賃仕事が出来ない仲間のためにも
肩身の狭い思いをさせないように、置いてけ
ぼりにならないように配慮しながら、平均工
賃額をアップさせるのも「事業所」で話さ
ないで行く。

それ以外にも現実には運営していくうちに問
題が出てくるだろうと思います。その一つ
一つを当事者の目線で解決していくのが当
事者運営の醍醐味です。困難であればあるほ
ど皆さんのご支援やご協力が必要なのです
が、行政の側からの協力も信頼関係を築く
中で次第に頂けるようになってきました。

是非、是非明確にしたがう法律のお
かしい部分を運用で改善していきたいが、何と
か運営を軌道に乗せようと思っています。
みなさんのご協力を今後ともよろしくお願い
します。

運営委員としてNPO法人の理事に就任して

理事 NAO

今年度、運営委員として立候補し皆の承認を得て、活動してきた。途中から母の介護をする事になり皆さんには多大なご迷惑をかけてしまい申し訳なく思っています。最初に深くお詫び申し上げます。

長年ほっとにお世話になり、少しばかりの恩返しと思い運営委員に立候補しました。

本年度は、新体系移行のための大切な年でした。会員数の拡大が、急務の課題でした。さらにはNPO法人化もしなければなりません。来年度には工賃仕事などもしなければなりません。一人平均3千円以上稼がなければなりません。会員は徐々に増え始め何とかBランクはクリアしました。いまだAランクに迫る勢いです。NPO法人にも成りました。役員名も運営委員から理事に変わりました。会員は社員です。残る課題は会員拡大と工賃仕事という事になります。今「ほっとスペース八王子」では、ポスティングやラーメン屋の清掃、八障連通信の丁合、団地清掃、香華販売などを行っています。さらに来年度はまき割の仕事なども

入って来る予定です。ここで問題になるのが、工賃仕事に社員のうち、何人がこうした仕事に参加できるのかという事です。会員は「ほっとスペース八王子」に何を求めて来ているのか？私は「ほっとスペース八王子」をその名の通り「ほっと」する場だと常々思っていました。皆が居心地の良い場所になれば、それで良いと考えていました。

工賃仕事と、安らぎの場とこの二つを両立していく事が大切ではないかと思えます。二律背反と考えるこの問題をどうやって解決するか、それがカギだと思っています。道は遠い様に思われます。皆で知恵を出し合って明るく元氣に行きましょう。

それから、忘れていました、利用料と交通費です。1日五〇〇円の利用料を取られるという問題。五〇〇円×二〇日＝一万円。こんなお金私にも出せません。

つまり工賃仕事で一万円以上稼げという事になります。こんな事で来年度今の会員は更新手続きをしてもらえないのでしょうか？交通費も遠くから

「ほっとスペース八王子」に通っている仲間にとっても大問題です。理事として2年間職務を全うしたいと思っています。SSKsもあるのです、微力ながら出来る事はやっていこうと思っています。在宅勤務です。

会員拡大が実現しないと給付金も少なく、職員の賃金が最低賃金法すれずれとなります。会員が増えれば、利用費問題、通所交通費問題も給付金から何とかひねり出すことも出来るのです、現行ではそうもいきません。

皆でこれらの諸問題を解決し、明るい未来を切り開いて行こうではありませんか。

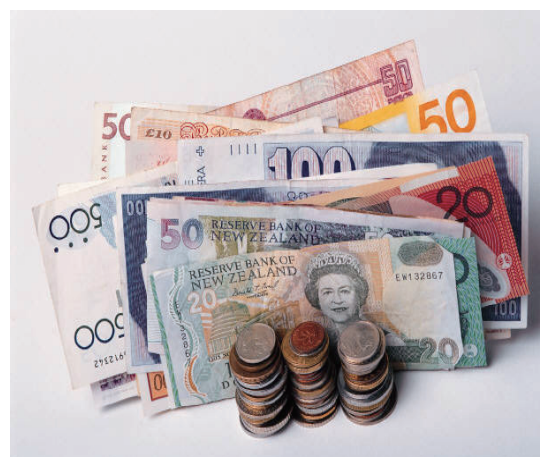
NPO法人について

ほっとスペースの

ボブ・ディラン

僕はNPO法人について、あまり知らない。したがって、図書館で調べて来た事をまず書いてみよう。NPO法人は載ってなく、NPOだけあった。次の様な内容である。

NPO (Non-Profit Organization: Not-for-Profit Organization) 民間非営利組織。世界二二カ国の国際比較を行ったし・サラム



ンによれば、以下の五つの特徴を持つ。

- (1) 組織性(定款や規約、法人格などの制度的実体性を有する)
- (2) 民間性(行政とは異なる組織である)
- (3) 利益の不配分(営利企業とは異なり、事業収益は事業の拡大にのみ再投資し、正会員に配分しない)
- (4) 自立性(他組織に支配されず、独立して組織統治をしている)
- (5) 自発性(組織への参加が個人の意思に基づき、個人から時間や資金の自発的な拠出を募る)

日本のNPO総数は約一〇万団体と推定され、このうち認証NPOは二〇〇七年末には三万五〇〇〇を超えるものと見込まれる。国内生産額はすでに、二〇〇〇年度で約六九四一億円と、市場規模で自動二輪車を上回り、

一七万六〇〇〇人の常勤・非常勤職員を雇用していた。認証 NPO について見ると福祉、教育、中間支援、まちづくり、健全育成などを主たる活動分野とするものが上位を占め、年間の収支規模は五〇〇万円未満と一〇〇〇万円以上がそれぞれ四割強と二分化し、収入内訳の構成比では会費等と事業収入でそれぞれ約三〇%、寄付金・協賛などが一三%である。職員の人数の平均は六・三人、そのうち専従の有給職員の平均は一・七人で、平均年収は一三四万円だった。

図書館で調べた結果は、この様だった。また、話によると、NPO 法人をとることで、理念が次の世代に継ったり、助成金・寄付が受け易いなどのメリットがあり、事務作業が増える等のデメリットがあるみたいだ。僕は理念を理解し、次の世代に上手くつなげ、日々のプログラムや仕事に精を出したいと思う。事務作業が増加する事については、事務の方達に頑張ってもらえないではないか。

ほっとスペース八王子の今

よかいち

「ほっとスペース八王子」は現在自立支援法のため、法内事業所として移行をしなければ存続出来ません。いろいろと手続き書類を作り都庁、市役所

など職員と理事が頑張ってます。書類作成や職員の作業が増え、会員さん達に配慮が行き届かない時もありました。「ほっとスペース八王子」がほっとするところになる為にも、いろいろな人への気遣い、会員さんに安心してもらう。

ばかりですので、安心しております。私自身、「ほっとスペース八王子」に対して、昔は今よりも言い争いが多く、残念に思う所がありました。最近、会員間、あるいは職員間での言い争いが、少なくなってきたという。この、率直な感想です。

法人「ほっとスペース八王子」として再出発する運びとなった。法人化へ向けた議論と法内組織へ移行するにあたって、当然ながら会員が中心となって議論・実務作業を担い、また八王子市障害者福祉課、東京都の外郭団体の人材育成センター、東京都の所轄のサポートにより、なんとか二〇一三年度からの法内事業所として出発することが出来る地点に立つことができたことを率直に喜びたい。

NPO 法人「ほっとスペース八王子」の発足について思うこと。

／よかいち／リネカー／山海珍味

ほっとの現状に感じること

リネカー

私は、ほっとに来てから、かれこれ、色々な人達と接して来ましたが、ほっととして人、物の考え方がしっかりしている人が多いな。というのが、今の感想です。

また、新会員の方と協力して、新しい魅力にあふれる「ほっとスペース八王子」を作ってゆくことを望んでいます。最後になりましたが、これから、新会員の方と、うまく「コミュニケーション」を取りながら、いい「ほっとスペース八王子」にしてゆきたいと思えます。

NPO 法人として再出発。

山海珍味

ですが、全体ミーティング等で議論が白熱してしまい、言い争いになってしまふ事が、多少ありました事を、少し残念に思っております。

また、新会員、新職員が入って来ておりますが、皆さん、真面目で誠実な方

「ほっとスペース八王子」も長年の議論を経て、二〇一三年度より NPO

不透明な政局の中で「障がい者」（及び関係者・支援者）を取り巻く環境がどのようになるのか、また障害者自立支援法が、将来総合福祉法へと移行していくのかは定かではない。翻って、全体状況を見渡せば、国家財政の破たんの状況の中で、近い将来しわ寄せが福祉の切り捨てに「障がい者」へ及ぶことも決してないとは言えない、と思わされる今日この頃だ。

また法内移行後のほっとスペースの運営も、当事者運営を基本に置きながらもさらに充実した内容を持って、当事者の方のニーズにこたえながら通所者人数を確保しつつ、工賃作業もこなしていくという、従来の「ほっとスペース八王子」とでは必ずしも力を入れてこなかった分野にも力を入れていかなければならない現実があり、

決して道のりは平たんではないのも事実である。

でもこうした状況の中でも「めげない」のが、ほっとスペース八王子の長年の運営の中で「培^{つちか}われた伝統」であ

特集 いじめについて

いじめのめい社会を

ほっとのボブディラン

最近、いじめの事件が頻発しているようだ。大津市立皇子山中二年の事件、埼玉県草加市市立中学の事件、そして兵庫県赤穂市内中学生の小学校男児暴行事件である。また最後に自分自身の経験を考察してみよう。

大津市皇子山の陸上競技場の近くにあるユース・ホステルに友達と宿泊した事がある。別に何の変哲もない地域だと思った。そんな所で昨年

と思う。理事長、副理事長、会員、職員が心を一つにして、さらなる飛躍を実現すべく、邁進^{まいしん}いたしますので、皆様方のさらなるご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

十月に大津市立皇子山中二年の男子生徒11当時（一三）が飛び降り自殺したそうである。その生徒の父親（四七）は七月一八日同級生三人を暴行。脅迫などの六つの容疑で大津署に刑事告訴し、受理された。代理人の弁護士によると、父親は昨年十月に学校が全生徒を対象にしたアンケート結果などを根拠に「三人が毎日、昼休みに学校内で殴る蹴るの暴行を繰り返していた」「キャッシュカードの暗証番号を教えるように脅し、現金を引き出させ、遊興費に使っていた」などとして告訴した。捜査員がこれを聞き取り、暴行をはじめ脅迫、強要、恐喝、窃盗、器物破損の六容疑で告訴調書を作った。容疑

時期は昨年七月十月とした。滋賀県警は、同級生の少年三人が昨年九月二十九日に大津市内で開かれた体育大会で、鉢巻で男子生徒の両手を縛り、粘着テープを貼ったとする暴行容疑で中学校と市教育委員会を捜索している。この様な内容の事件である。まったくひどい犯行で、警察ざたになってもしょうがないと思う。

次に草加の飛び降り強要の件であるが、埼玉県草加市の市立中学校で四月に、二年男子生徒（一三）が同級生に校舎から飛び降りを強要され重傷を負った問題で、男子生徒が一部の同級生から体を小突かれるなど日常的にからかわれていたことが、同校の複数の生徒への取材で分かったそうである。記事は次のように続く。校長（五五）は二十日に学校で会見し、男子生徒が飛び降りる前日に、強要した生徒の一人に肩を殴られ、担任教諭に相談していたことを明らかにした。教諭は相手の生徒に事実を確認し、謝罪させたという。生徒たちによると、男子生徒は一部の同級生に日ごろから校内でいきなり小突かれるなどしていた。男子生徒は小学校でもいじめを受け、生徒たちは「中学に入って一年の時は少し落ちついてきたが、いじめられっ子の立場は

変わっていないかった」と話す。学校の調査では、男子生徒は怪我をした数日前にも二度同級生に飛び降りを強要され、金銭も要求されていた。取材に応じた生徒たちも「男子生徒が」窓のひさしに立たされて、『飛ばないなら千円な』などと脅されていた。」という。校長先生は会見で「いじめがあったことは認識していると謝罪。ただ、いじめは新学年を機に飛び降りの数日前から始まったと説明し「一年生のころはなかった」と、日常的ないじめは否定した。ひどいじめだったが、命に別状無買った事は幸いである。

三番目は兵庫・赤穂中三ら、小学男児暴行である。記事は次のように続く。兵庫県赤穂市内で中学生らが小学生の男児を暴行している様子を撮影した動画がインターネットサイトに投稿されていたことが十九日までに兵庫県警への取材で分かった。





赤穂市教育委員会や県警の調べに男児らは「遊びだった」と説明したが、市教委は同日、会見を開き「明らかに暴力行為で、いじめと認識した」と発表した。市教委によると、暴行にかかわっていたのは中学三年の男子生徒ら少年五人。七月八日に赤穂市内の公園で小学生の男児（一二）を殴ったり蹴ったりし、その様子を携帯電話のカメラで約一分にわたり撮影していた。動画には「ははは、まだ十秒やぞ」「こらおめれえ動画になりそうや」「顔面やんなよ」「はい一分!」とはやし立てる声が録音されていた。

男児は終始無抵抗だった。県警赤穂署は十九日までに市内の男子高校生を暴行し、けがを負わせたとして傷害の疑いで、動画で男児を殴っていた中学三年の男子生徒を含め四十六歳の四人を逮捕。男児への暴行容疑でも捜査を始め、すでに男児や担任の教諭から聴取した。市教委

の調査に、動画が写った男子生徒らわ「ゲームでやった。遊びのつもりだった」と話し、男児も同様の説明をしたというが、市教委は「明らかに体格差があり、どう考えても負けない相手の暴行だ」としていじめを判断した。ひどい暴行で警察ざたになってもおかしくないと思う。

最後に僕の経験であるが、小学校、中学校、高校、高校の部活と四つある。小学生の時は学級会でいじめっ子といじめられっ子の意見を聞いて、クラスの全員でいじめっ子をとっちめた。それから虐めはなくなった。

中学生の時は、一年生の時同じクラスにある女の子がいて、発作という行動が起きるという事で、皆に嫌われていた。よく学級会等を聞いて話し合っていた。高校の時は、K君という僕の友達が別のクラスである男子生徒に、皆の前で、体を触ったりされていた。僕は友達に手をかけて『おいK、大丈夫か』と呼びながら引く張ったりした。そのうちにある男子生徒は友達を攻撃するのをやめてしまった。その後、いじめは無くなったみたいだ。高校の部活では、日頃某先輩から、いじめられていた卓球部のSくんが、その先輩につかみかかった。僕は二人の間に割って

入って、その喧嘩を止めた。その先輩とS君は後で話し合って和解したみたいだ。

結論としては、「いじめ」のない明るい社会が出来れば良いと思う。

いじめに 後から気づいた

山口咲子

会社を辞める二か月前から、当時のグループリーダーのNさんからいじめを受け、私は会社をやめざるをえない、いじめを受けました。

会社を辞めてから一〇年がたち、あれがいじめだったのだらうと初めて気づきました。

人間性を育てること

リネカー

僕は中学校時代、サッカー部に入学して、そこでいじめを受けました。

いじめの内容は、けられたり、ぶつとばされたり、「くさい」と言われてしまいました。いじめられている間は、辛く苦しかったですが、先生にも相談せず、ずっと、いじめが収ま

るまでずっと耐えていました。

相手から「クサイ」と言われても、ずっと耐えてきました。中学時代のサッカー部の三年間は、色々な人から、いじめられて、大変、辛く苦しい思いをしました。

今、思うと、暴力を振るった人間は、少年院にでも、送り込んで欲しいという思いで、一杯です。まあ、今更考えても、仕方ないことなので、あまり、クヨクヨ悩まないようにしています。

ただ、僕の場合、中学時代のサッカー部でいじめにあった事が、逆に弱い人達の辛さが少しでも、わかるようになったかなあ、と思います。

いじめというのは、強い人と弱い人がいる関係上、絶対なくならないと思います。人の心を思いやる、人間性を育てることが、教育上の責務だと思っています。



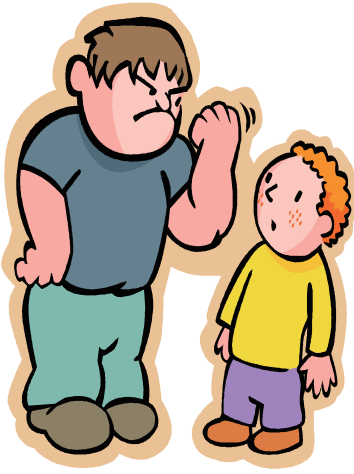
職場で 後輩からのいじめ

夕暮れ時のスズメバチ

私はいじめというか、仕事をしている頃に後輩（といっても私が年上というだけで仕事上ではその人の方が先輩です）にいろいろとグチをこぼされた経験があります。こういった事かという、まず第一に仕事の要領が悪い、物覚えが悪い、遅いといったことでした。

ちょっと仕事でミスをする、イヤミや舌打ちなどを言われたり、されたりで悩みの種でした。

そのうちに馴れてきて開き直りましたが、その頃通っていた病院のデイクアの担当の職員さんに毎週、デイクアに行くたびに、今日はこうい



うことを書いてきましたと小さなノートにいちいち書いて（その週にあった出来事を）読んで聴いてもらってアドバイスを受けていました。

どこでもありがちなイジメという出来事ですが、僕にとってはそれなりにイヤな経験でした。

生きる道を 見いだせた

よかいち

大津市のいじめ事件はいじめっ子が始めは遊び感覚でやっていたいじめが、生命を脅かすいじめになった。酷過ぎる犯罪にエスカレートしてしまいました。また日本のいじめ問題がマスコミに浮上して、各地で犯罪とも言えるいじめが浮き彫りになりました。

父親はそのいじめた三人に対して暴行をしました。僕の父も健在です。もし僕が、今回みたいな犯罪をされたら、父はきっとそのいじめっ子を許せないと思います。

ただ僕自身、それを想像したら涙が出そうになりました。うちの父は暴力をしません。でもきっと父はそんな犯罪を僕にされたら、父がそのいじめっ子を仕返すように思います。そう思うと凄く切なく正しいはずの父が暴力を振るって

しまつ事を考えると凄く悲しく思います。親離れ子離れが、来ていけないかもしれませぬ。ただ恨みの念で息子の死を一生背負ってしまうと思います。そんな恨みの念を暴力ではらすのは僕の父にとっては一時的な発散になってしかならず、そんなことでも息子は帰ってこない。でもそれでも暴力に走ってしまう父だと思つと不憫でならぬと思います。

僕はいじめを受けたり、いじめをしました。いじめなんてすればその場の気分の発散や人より自分を優位に立てたり利益を得るためであり、ぜんぜん罪の意識がないです。しかもいじめられっ子もいじめっ子も己の見識が狭くなります。

昔中三の頃同級生の友達をいじめました。高一の時学校が変わり半年か一年経ってからそのいじめられっ子だった人と再会しましたが、こちらが友達感覚で接したら自分を避けるようにされました。その後僕は自分をいじめや宗教的に正しくない自分を責め引きこもって自分を責め続けました。

何年かして社会復帰しても年齢による年相応の能力も求められ、いつも落ちこぼれの人生で、自分なりに子供の頃研究し得た知識が役立つ事もありません。幻聴が聞こえます。僕を責める言葉を家の周りや、棚の向こうで、しゃべっているように感じます。そんな事周りの人はしゃべっ

ていないのに、そう聞こえてしまい近所の人や職場の人に失礼なのですが、僕は泣きながら仕事をしてました。

ただ幸いだったのは、そのいじめられっ子と二五年ぶりに再会して笑顔で僕と話してくれました。友達だった楽しかった思い出だけ残ってみたいです。僕は小学生の頃は仲良くしてたのに自分の充実を感じられない事をこまかす為に一年間いじめっ子だった自覚があり再会時には大変恐縮していましたが、その人は職場でリーダー的な地位にいる事を話してくれました。

今は誰からも、いじめられてない生きる道を見出したようで、嬉しく思います。犯罪（いじめ）をしたら罰せられるのは当然の事のように思います。ただその加害者が、いじめを悪い物と自覚し、何かに気づき、誰かの為になる事が出来るようになれば、被害者自身の死が無駄にならないと思います。それだけ自分を見つめて行く事がお互い大切に思います。



教師としての責任

働きかけが必要

菊池春海

孫悟麴

特集 いじめについて

私が苛めについて忘れられないのは、中学一年生の担当の先生からの苛めです。遠足でバスの網棚に、弁

滋賀県大津市で昨年発生が発覚したいじめ自殺については、この原稿を書いている八月現在でもニュースでの続報は絶えることなく、また、2ちゃんねるをはじめとするネット言論においても絶える事ないどころか、激しく炎上するばかりのようです。

たバッグを置き忘れた時に気付いてすぐバスに戻った時に「この馬鹿者！」と頭を何度もひっぱたかれた事が

いじめの手口、自殺までのいきさつ、またいじめを否定する加害者たち、またそれを隠蔽する教育現場など、今までの数十年間、たくさん見てきました。また、自分自身についていじめたこと、いじめられたことを含めて、いくらかの経験がありました。（今回の文では、そのことには言及しません）

これはひとつには、社会への不満が、行き場のない怒りをもって、加害者（またその家族や、さらには教育者たち）に向かっていることだと思えます。景気は回復せず、自殺者も減少せず、政権交代を成し遂げた民主党のやったことといえば、利敵行為に増税。最近原発の再稼働について反政府的な動きは加速してきたようですが、世の中を劇的に変えるような流れには至っていません。

そこで、自分の考えるいじめの対処法をいくつか書こうと思います。まずいじめが原因で不幸にも自殺してしまった場合、これはとにかくいじめに至った経緯と、再発防止策の徹底しかないと思います。取り返しのつかないことは、取り返しのつかないなりのもあるのです。

最初です。それから私への苛めはエスカレートして、極めつけは、ホームルームで通知簿を皆の前で『何だこの図工は最低だぞ』とののしられた事です。思春期に受けた心の傷は一生治らないのですよ。それを忘れるようでは教師失格です。

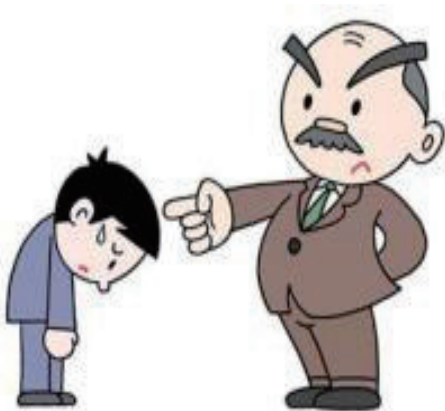
今回の件について、象徴的な点があります。それは前述したようなネット言論のかつてない炎上ぶりです。ネット社会と言われるようになってから、いじめ事件は多数あっただろうし、また、いじめ加害者を糾弾するようなサイト、書き込みも多くあったでしょう。それにもまして、今回の件は、加害者への怒りが強く向かっている印象があります。

そんな世の中の閉塞感が、加害者への攻撃のエネルギーになっているのではないかと推測できます。もしかしたら、自分の推測も外的なのかもしれません。とにかく、「なんとなく加害者が許せない」という人もいるでしょう。「新たないじめを助長する」と憂慮する意見もあります。

学校問題を包括的に扱う専門の弁護士は拡充。「いじめられる方にも問題がある」というと、たちどころに批難が殺到する昨今ですが、実際に人格的な問題があつていじめられたり、少数ですが、いじめ被害がないのに「いじめられた」というケースも存在します。また、ある人は「日本にはいじめはない。日本でいじめと呼ばれるのは犯罪行為である」と言います。いじめであれ犯罪であれ、弁護士には、そういったことでも対処できるような体勢も必

社会的な

とにかく、今回の件も含めて、「いじめ」の総括はできていない、というのが結論です。実際問題として、何十年も語られてきた「いじめ」、考えようによっては、正体不明というか、得体的に知らない化物のようかもしれません。とにかく、有効な対策がありません。予防策どころか、発覚後の適切な対処さえできません。（このことが、今回の大津市の件で、沈黙化どころか炎上する原因にもなりました）



要でしょう。しかし、基本的にいいめ
は人権問題です。刑法的な対処も必要
ですが、もっと根本は人権問題です。
同時に、心理学者（カウンセラー）の
拡充も必要になってくるでしょう。

あとは、認定フリースクールの拡充
です。人間関係的な問題で、いじめが
不可避である可能性というのは十分考
えられます。個人的な意見では、「いじ
め」からは逃げてもいいと考えていま
す。いじめが原因で不登校になること
は少なくありません。

そういった避難所としてのフリース
クールは、今後もっと必要になってく
るでしょう。

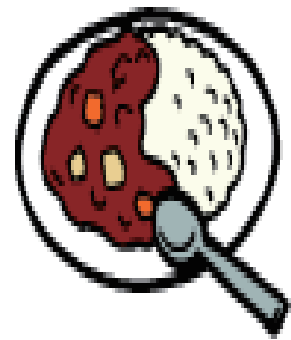
そうなると多数の人間で少数の面倒
をみる、といった体制になるのも避け
られません。

ボランティアの力もものをいいます。
同時に社会的な働きかけとして、フリー
スクール出身者でも義務教育の修了資
格を持てるようにすべきです。

今後、これよりももっと具体的に、
いじめに対する方策を考える必要があ
るかもしれません。

かなり差し出がましく意見を述べて
しまいましたが、まだいじめについて
考える機会を持つ必要があれば、書い
ておきたいと思います。 終了。

特別寄稿



たまには
カレーの話でも
してみますか

孫悟題

「みんなでカレー」の日

仕込み以外では、お手並み拝見にとど
まりました。できあがったのはスープ
風チキンカレーで、ナン（スリラン
カではロティというらしいです）と炒
めたもの、と合わせて食しました。大
変に美味しかったです。

海軍とカレーの関係

七月一七日、スリランカ人講師を招
いての「みんなでカレー」作りが実施
されたのですが、どうも筆者が「ほっ
とスペース」内ではカレーのスペシャ
リストということにされているらしい
のです。かといって、カレー作りに関
しては、まったく素人という訳でも
ないのですが、一口にカレーといっ
ても、各地域によって作りかたも違っ
ていよう。そんなわけで、その日の「み
んなでカレー」では、切り込みなどの

さて、「ここからは長〜い余談に入りま
す。日本のカレーは、インドからではな
く、イギリスを経由して明治五年に伝え
られたと聞きます。当時インドを支配し
ていたイギリスによると、ご飯にスパ
イススープをかけた料理を見て、「これは
何の料理か」と尋ねたところ、インド人
は、「カレーだ」と答えたので、カレー
という料理になったようです。（実際は、
インド人にとってはスパイスを使った料

理の総称が「カレー」（ヒンズー語ではな
いらしい）であり、「カレー」という特定
の料理」を指したものでなかったよう
です）カレーと言え、導入当初は高級
料理の代名詞だった時代もありました。
（時代は下りますが、昭和二年、新宿「資
生堂パーラー」のカレーが八〇銭、これ
は現在の価格で一〇〇〇円ちょっとくら
いでしょっか）

さて、カレーライスといえば、海上自
衛隊（海軍）名物とも言われるようにな
りましたが、採用の歴史は意外にも陸軍
のほうが古く、明治六年の陸軍幼年学校
にそのルーツがうかがえます。海軍の正
式メニューとなったのは、明治四一年、
日露戦争も終わった頃です。海軍のカ
レーは、小麦粉でとろみをつけたイギリ
ス式のカレーに習っています。（イギリ



スでは揺れる艦内でも食べられるようころみをつけたそうです）

カレー導入当時、レシピ研究をしていた当時の海軍、連合艦隊司令官東郷平八郎は、ビーフシチューのほうがお気に入りだったようですが。そのビーフシチューのレシピ研究の副産物として、肉じゃがが誕生しました。カレー、ビーフシチュー、肉じゃがの共通の具、牛肉（豚肉）、玉ねぎ、ニンジン、ジャガイモは今に至るまでの黄金パターンと言えるでしょう。とりわけ豚肉のパターンは、栄養的にもほぼ完全と言えるでしょう。

余談ですが、現在の海上自衛隊では、金曜日がカレーの日になりました。（完全週休二日制になったため、従来は土曜日がカレーの日でした）



カレーの世界

前述したとおり、インド（周辺各国を含む）のスパイスを使用した料理の総称がカレー（ヒンズー語には「カレー」という単語はないが、便宜上カレーと表記します。）であり、作る人の分だけカレーの種類があり、それこそ無限にカレー料理があるという事になります。

おおざっぱにわけても、インド風、スリランカ風、タイ風、パキスタン風、ネパール風、ベトナム風、ベンガル（バングラデシュ）風、ジャワ（インドネシア）風、欧風、日本風など……また同じインドでも、北部と南部、東部と西部、平野部と山岳部、あるいは中央部それぞれに特徴が違ってきます。また、中東や北アフリカにも、また中南米においても香辛料を使ったカレーテイストな料理があり、まさにカレーはワールドワイドな料理といってもいいでしょう。

カレーとスパイス

前述した「みんなでカレー」で使ったカレー粉は、ガラムマサラのような印象も受けました。

一般的にカレーといえば、カレー粉またはマサラを使った料理の総称です。そこで、カレーに使われる主な香辛料を簡単に紹介していきます。まずはターメリック（ウコン）、これはカレーとは切っても切れないスパイスの代表です。カレーのいわゆるカレー色（黄色）がそれです。

あまり比率が多いと苦くなります。ブラックペッパー、ホワイトペッパー、レッドペッパー、オールスパイス、これらはカレーの辛さを決める重要なスパイスです。当然多くすればカレーは辛くなります。最近ではハバネロやデスソース、フート・シロキアといった中南米由来の激辛スパイスをカレーに使用することも出てきました。クミン、コリアンダー、フェンネル、クローブ、ナツメグ、ローレル、タイム、セイジ、シナモン、オレガノ、カルダモン、スターアニス、などはカレーの芳香を決めるスパイスあるいはハーブです。他には山椒も使われます。最近では、多種多様なハーブをカレーに使用することも多く、香り高いカレーも多く、香り高いカレーも多く、よく見かけます。基本的に、色、辛味、芳香の三要素でカレーは決まるので、最低六〜七種類の香辛料でもカレーは作れます。しかし自宅で美味しいカレーを作ろう、と思ったら、一二種類以上

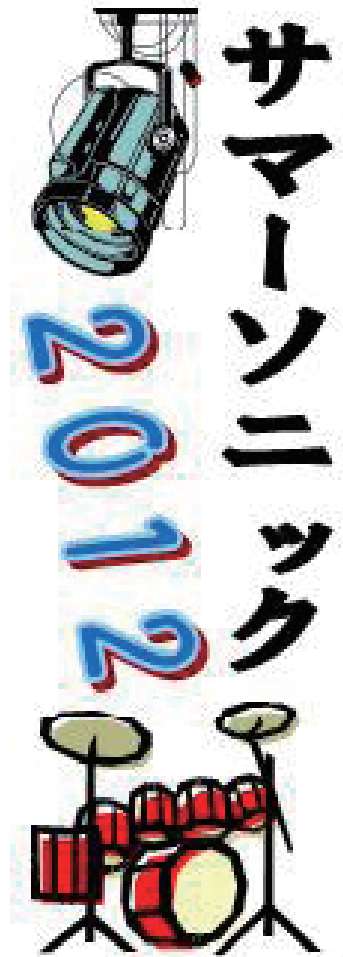
の香辛料は欲しいところです。そしてまた、これらの香辛料のレシピは公表されているものもありますが、思考錯誤で美味しいレシピを探すのも楽しいです。

ちなみに、香辛料をブレンドしたら、馴染ませる（熟成）に一週間は欲しいところです。



最後に

長々と、カレーについての能書きを連ねてまいりましたが、まだまだカレー探求は続きます。終わりのなき旅路みたいなものです。またいずれかの機会に、カレー話でもしましょう。



「サマーソニック 2012」に行って

ほんとスペースのボブ・ディラン

八月一九日（日）朝六時頃起床し、買っておいたランチパックとコーヒーを飲んだ。

午前十一時から開演なので午前八時には家を出た。なんでだか知らないが京王線は調布のあたりで止まっていた。もちろん午前中である。仕方が無いので、八王子駅から東京駅まで中央線で行った。東京駅で京葉線に乗り換えだが、中央線ホームから京葉線ホームまではすごく遠かった。半端じゃなかった。東京駅から京葉線に乗って海浜幕張駅まで行った。そこから「サマーソニック 2012」の会場まで歩いて行った。幕張メッセとQVCマリンフィールドが会

場だったが、僕が会場に着いたのは午前一〇時頃だった。まず、マリンステージから観た。午前一時からはVINTAGE TROUBLEというバンドが出た。白人のリードギターと黒人のボーカルが主役のバンドだった。

ロックンロールが御機嫌だった。僕はフィールドから立って観ていた。黒人のボーカルが右側のフィールドに降りて来たりした。そのステージが終わってからの人からホースで水をかけてもらったりした。すごく暑かった。

午前一時五五分からはGMC CLASS HEROESというバンドが出た。体育の時間の友達で作ったバンドだそう。あまり面白くなかった。途中で会場を出た。幕張メッセの通路でフランクフルトと焼きそばを買って食べた。駅の方まで歩いて行ったらウェローチエがあったので、中に入ってアイス・コーヒーを飲んで時間を潰した。文庫等

を読んだ。また会場の方へ歩いて行った。今度は幕張メッセで観る事にした。

一三時五〇分からソニック・ステージでOFFHUR LINESというのを観た。前衛のロックみたいなのをやっていた。男性ボーカルで結構上手かった。

別の場所に行ったら、Deftoneをビデオでやっていたので、ついつい観てしまった。とても暑そうだった。幕張メッセの会場も屋内のわりに凄く暑かった。

一四時二五分からはマウンテン・ステージでCASTだったが途中から観た。男性ボーカルで、なんだかブルース・スプリング・スティーンのバンドみたいだった。

一五時半からはレインボウ・ステージで加藤ミリアを観た。演奏はカラオケみたいだった。ダンサー達と一緒に踊っていた。有名な曲も何曲があつて良かった。マウンテン・ステージに行ってみるとCARDBOARDが演っていたので途中から観た。女性ボーカルだった。

マウンテン・ステージのアリーナで待っていると一七時〇五分からIOBASTANKSが始まった。ハードロックみたいなバンドだが、ボーカルの顔が小堺一機みたいで面白かった。IOBASTANKSはちゃんと真面目にステージを務めていた。そこが良かった。その後、ソニック・ステージに行った

らFOSTER THE PEOPLEが演っていたので、一曲だけ聴いた。知っている曲だった。良い演奏だった。

また、マウンテン・ステージに行くと一八時三〇分からCARDBOARDを観た。女性ボーカルであった。男性ギタリスト二人も上手だった。人気バンドという感じだった。一九時半くらいまで続いた。

それからFATMANAを観にマリン・ステージに行った。スタンド席はぎゅうぎゅう詰めで、座る所が無かった。二〇時頃から演奏が始まったが、あまりに混雑しているので、僕は帰る事にした。

海浜幕張駅へ歩いている途中、眼の調子が悪くなってしまった。何か食べた方がいいと思い、駅のレストランでチャーハンを食べた。我慢して電車に乗って帰った。

帰りのルートは行きと違っていた。海浜幕張から新木場まで京葉線に乗り、新木場から月島まで有楽町線に乗った。月島から新宿までは都営大江戸線に乗って行った。

新宿から京王八王子までは京王線に帰った。大江戸線に乗ったあたりから眼の調子が元に戻った。

とても長い一日だったが、とても意義な一日だった。たくさん人のロック・バンドを観る事が出来て本当に良かった。



映画会について

ほっとスペースのボブ・ティラン

映画会について書くというと簡単
なように思われますが、そんなに簡
単ではありません。

まずDVDあるいはブルーレイの
レンタル屋での勝負があります。自
分で探す何とどこにあるのか分か
らないのです。そうすると店員さん
に聞くのです。女性の店員はたいが
い親切に教えてくれます。男性の店
員は、しょうがねくなくっという感
じで教えてくれます。

次に、ほっと内での障害がありま
す。

DVDを借りたのだから、その金を
払わなくてはなりません。だから、
職員の人達に領収書を渡してお金を
もらいます。これはすべの時もあり、
少し待たされる時もあります。

三番目の勝負は上映のセッティン
グと上映です。自分でセッティング

する時は機械の操作を良く知らない
と出来ません。だけど、なるべく一
人でやるようにしています。たまた、
機械に詳しい人が手伝ってくれま
す。

四番目の勝負は、休憩時間をどこ
に入れるか考えて、休憩をとる事
です。通常約一〇分です。目が疲れる
人が多いので、そのくらいが必要
な
のでしよう。

最後の勝負ですが、それは何を上
映するかという事です。もちろん、
皆で意見を出し合って決めるので
す。五月から、少しやり方を変え
ました。ツタヤで『シネマ・ハンドブ
ック二〇一〇』という本が¥二〇〇で
売っていたので、それを買いまし
た。中味を見てみると、「洋画バス
ト五〇」などという事が書かれて
いました。その中から映画を選べば
良いんじゃないかと思いました。そ
の雑誌を持って全体ミーティングに
出席し説明したら、皆様の承認を
いただきました。そのやり方では、ま
だ、三作ぐらいしか上映してませ
んが、若者向けで面白いとの評判
です。僕はこのやり方を軌道に乗
せたいと思っています。皆様の理
解と協力を期待しています。



ほっとスペースの

ボブ・ティラン

映画評を書いてくれという依頼が
あった。

僕は、『映画を観る』という行為を娯
楽として考えていた。映画について、い
ろいろと考えをめぐらしてみた。チケッ
トが残っているか調べてみた。しかし、
数枚しか残っていないかった。

すると、チケットを見ながら、思い出し
て書くということが出来なくなってい
ました。また、五本ぐらいの映画のチケッ
トの半券はあった。

でも、ストーリーが思い出せないのが
ほとんどである。今まで、映画館で疲

て寝てしまったり、集中出来なかつたり
で、観方が甘かった。これから映画評が
書けるように、真面目に集中して観るよ
うにしよう。映画を観る回数は、2週間
に一度である。映画評を書くにあたって、
なるべく自分の感性に基づいた文章を書
くようにしたい。

ちなみに最近観た映画は次のような物
である。

- 1・リミットレス
- 2・ネイビー・シールズ
- 3・デンジャラス・ラン
- 4・ダークナイト
- 5・最強のふたり

この中で少し覚えている映画は3と5
である。

この二作について『映画評』を書いて
みる。

3・デンジャラス・ラン

CIAの工作員達の話であり、ある人
を追いかけて別の人がつかまえようとし
て、そうこうしている間に世界のいろい
ろな土地を旅するという話である。アク
シヨン・シーンやカー・チェイスがとて
も迫力があり、世界を股にかけている所
など、とてもスケールのかい映画だと思
う。また、工作員達は、プライベート
な面で、家族や恋人に本当の事を言えな

かったり、言って誤解されたり、あまり幸せでない一面も垣間見えた。極悪人とたった二人で移動しているの、デンジャラス・ランという題名になったのだろつ。

5・最強のふたり

今日、南大沢で観た映画であつたが、なかなか面白かつた。介護が必要な中年身体障害者と失業状態にある黒人の若者のふれ合を描いた作品である。この映画はフランス映画で、日本語の字幕で見た。大学の第二外国語で仏語を履修していたが、まだ仏語を忘れていないのにはうれしかった。

中年の身体障害者は黒人青年の不良っぽ



映画ってほんとにいいですね〜

い介護の仕方が気に入っているみたいだ。身体障害者の日常が映像になつているが、この精神障害者の私から見ても大変な生活だと思つ。仏語の勉強と兼ねて観ようという方にはお奨めの一本だ。



ほっとスペースのポップ・ディラン

僕はロックが好きです。最近ジャズをきくようにしているが、ジャズを聴いていると眠くなつてしまいます。ロックを聴いているのが心地よいです。

【ビートルズ】

大学時代、友達とビートルズ研究会というサークルを設立したくらいビートルズが好きでした。ビートルズも英国出身のロック・バンドです。個人的な話になりますが、僕がビートルズを初めて聴いたのは高校時代でした。クラスの友達にレコードを借りて聴きました。その時の感想は「うるさいな」というものでした。でも次第にそれにも慣れてきました。

【ローリング・ストーンズ】

その次に聴いたのは、ローリング・ストーンズでした。ビートルズ研究会のメン

バーから、ミック・ジャガーやローリング・ストーンズは「いいよ」を言う話はきいていました。社会人時代に自分でCDを買つて聞きました。映画でローリング・ストーンズのコンサートを見たこともあります。

【エリック・クラプトン】

三番目に聴いたのは、エリック・クラプトンでした。友達がチケットを取つてくれて、一緒に来日コンサートを観にいったこともあります。とても良かったです。会社を辞めた後に、自分でCDを購入して聞きました。クラプトンは、ギターが上手いだけでなく、歌も上手ですね。

【クワイーン】

四番目に聴くのは、クワイーンでした。これも会社を辞めた後、自分でお金を出してCDを買いました。クワイーンの曲は、中学時代、友達の家遊びに行つたと

きにその兄貴がステレオで聴いていました。太音量でした。クワイーンはクラシックとロック融合したみたいなのでとても良いですね。メンバーがエイズで死んだのも有名ですね。

【オアシス】

五番目は、オアシスです。英国の民謡みたいなテイストが入っています。僕は個人的には、カントリー色よりも英国民謡色の方が好きです。病気をした後、一人暮らしをしたときあたりから、オアシスを聴き始めました。最近では、ノエル・ギャラガーのソロ・アルバムが気に入っています。

【レッド・ツェッペリン】

最後になってしまいました。レッド・ツェッペリンがあります。僕は、最初の会社を辞めた後に、ツェッペリンのCDをほとんど全部購入して聴きました。シミ・ページはギターが上手いし、ロバート・プラントは歌が上手いですね。僕はレッド・ツェッペリンを初めて聴いたのは、高校時代でした。同じ学年のやつが、コピー・バンドをやっていました。とても上手だったのを覚えています。

ロックについて色々書いたのです

が、英国に限定してしまうとあまりの無いですね。ここら辺で筆を置く事にします。残念と言えは残念です。



長崎レポート

Y・M

8月9日「原爆の日」に望んだ稲佐山山頂展望台から望んだ長崎市。世界3大夜景と言われる景色は67年前に原子野あつたとは想像を絶する美しさであった。

ホテルでは長崎地方の郷土料理である卓袱料理と温かなサービスでもてなしていただきました。理事の有川さんと合流しバスで碑巡りに参加させていただきました。山里小学校では、平和祈念集会に参列し、原爆の犠牲となられた児童と教職員あわせ1300名余りの御霊に哀悼の誠を捧げた。

昨年の東日本大震災では15000人を超える多くの尊い命が奪われ、被災地は風景を一変させた。その光景は原爆の惨禍に在った67年前と重なる。長崎はどのように原子野から上がってきたのか。戦後10年の復興の歩みを振り返ってみる。



これがホテルの豪華な食事です。（卓袱料理の一部）

1945年8月9日、浦上の上空でさく裂した一発の原子爆弾で長崎の街は壊滅的被害を受けた。長崎原爆戦災誌などによると、当時の市街地の47%に当たる約671ヘクタールが灰じんに帰し、市内全戸数の36%に当たる1万8409戸が被災したとされる。

復興の歩みは、瓦やれんがといった“がれき”を撤去する清掃事業から始まった。県と長崎市が発行した「復興

のあゆみ」を見ると、県は45年47年度にかけ長崎駅前など計約42ヘクタールで清掃事業を実施。46年度には金属類約400トンを回収している。

土地や住まいを失った被災者や引き揚げ者の住宅対策も急務だった。45年10月頃、岩川町一帯に応急簡易住宅2千戸の建設を計画。市営住宅の建設も46年（332戸）に始まる。

だが供給が追いつかず、公園などに無断で屋台や住宅を建てる人が後を絶たなかった。55年頃長崎駅前付近には119戸が立ち並んでいた。

戦災復興計画基本方針が46年に閣議決定され、土地区画整備事業に着手する。

原爆災害復興の為の特別法である49年の長崎国際文化都市建設法公布に伴い、平和記念施設の建設などを盛り込む。早期復興を目指し50・54年度の「再検討五力年計画」で事業を推進。（事業延長し59年度に終了）51年には国際文化会館や市営大橋球場が完成した。

戦後10年目の55年、長崎国際文化会館（現長崎原爆資料館）が完成。この年8月9日の長崎日日新聞（長崎新聞の前身）では、見開きで復興のあゆみを紹介。戦後10年間で建てられた公営住宅は2045戸など、整備が進む浦上地区について「見よ、原子野は世紀の傷跡も殆ど癒えて、新しい浦上を築きつつある。その復興は全く驚くばかりだ」と記している。



集会にて原爆犠牲者に追悼に意を表す。

東日本大震災から一年半が経過したが、岩手、宮城両県で発生したのがれき2398トン（土砂を含む）のうち8割の処理が受入自治体が少なくまだ済んでいない。処理場所がないがために除染も進んでいないという。

福島復興を長崎へ一日も早く発信すること、原爆犠牲者となった御霊、今も後遺症に苦しむ方々とどこけられるよう私達が誠実に向き合っていかなければならない。

福島は修学旅行で観光し、松島や白虎隊を思い出します。アルツスキー場へも訪れたことがあります。また福島を訪れ、復興に貢献してゆきたい。

2012年8月6日 長崎研修旅行 学習会レポート

しゃの よかいち

長崎がなぜ原子爆弾の標的になったか？

広島原子爆弾の投下後、2回目の原爆投下の予定地は北九州の小倉だった。小倉の天候悪化の為、3回巡回したが、原爆投下が出来なかった。そして燃料も少なくなった事もあり、第2目標の長崎に行き、雲の切れ間に町が見えた事で標的とした。長崎に落ちたファットマンは広島島の15倍の威力があったが、山に囲まれた地形の為、面積で言えば広島島の狭い被害だった。広島島の15倍の威力という事で長崎の被害はとても辛いものと思われる。

またアメリカの新兵器の威力を確かめる目的や、軍需工場が多数点任して、人口密集地点などが、攻撃の目標とされていた。その中に長崎も候補とあげられました。アメリカの軍事戦略の都合もあり、ナチス・ドイツや旧ソ連の前に原子力爆弾を開発したい事や日本の軍需基地を叩きたい思想で、投下が検討された。長崎に投下されたのは、アメリカのその場の都合により必然性はなかった。アメリカのその気まぐれなプランの犠牲になった長崎は怒りうるえる想いに思います。後世に核の恐ろしさ、どんな惨状だったかを、後の報告書の中で

書きますが、胸が痛い思いです。

時の政府 が日本の敗戦に対しての決断が早ければこのような 惨事も少なかったと思われる。事前に惨事を予防出来たはずなのにそれをせず、かたくなになつてた事がつらい悲劇をもたらされました。その打算は現政府の原発再稼働などこんでもない事をまかり通そうとする政府の過去や現状が、とてもおかしいと思います。



人類は核と共存できない！



新しいエアコンについて

菊池晴美

前にあったエアコンが雷にあつて、壊れてしまったので新しく購入しました。

一般家庭用と違って大きく、今年の夏は涼しい夏を過ごせそうで、今年は、部屋にエアコンがない。私にとって、うれしく思っています。

55インチTVについて

菊池晴海

先日私の知らない所で、新しい液晶テレビを、購入した。

メーカーは韓国のLG電子の55インチで画面は以前のものと比べるとかなり大きい物で、以前映画観賞ではスクリーンを出して観ていましたが今度はその必要もなく、映画を楽しめました。これからいろいろなDVDを見られるので、楽しめると思い期待に胸をふくらましてます。

iPadについて

菊池晴美

我がほっとでは先日iPadを購入し、沢山の歌が聴けて皆が喜んでます。ただ、それらの歌は、私にとって新しいもので、余り共感出来ないのが残念です。私は、ビートルズ世代なので、私の部屋では、毎日ビートルズを聴かないとすまないのびートルズのアルバムは一日2枚程聴いています。iPadでビートルズが聴ければいいなと思っています。

富士森公園での

花見の思い出

菊池晴海

長かった冬も終わりを告げ、ようやく暖かい春の日差しがまぶしい今日この頃、4月9日に、ほっとのメンバー6人で、ほっとから歩いて、富士森公園巡花見をしました。

幸い天気もよく、皆で楽しい思い出しました。これからは色々な、草花が我々の目を楽しませてくれるだろうと思えます。又少しばかり不愉快な事がありました。

そのひとつは、私が、以前通っていた喫茶店で、食事をし、紅茶を飲み終えて駅迄歩いてた途中、そのマスターが私に対して「もつうちの店に来ないでくれ」と言われました。

私には何故この様なところあたりがないので、どうしてですかと聞いた所、営業妨害だと言われたので、不愉快になりました。唯一原因は近くにある精神病院に通院していた過去があった以外考えられないのです。ここにもまだ偏見と誤解が沢山残っているなと思いました。

我々精神病患者は自分自身偏見を持つてる限り、偏見はなくならないのです。私はあえて不利な事になろうとも、私は精神障害者であるとはっきりいいますし、これからもそう言っでしよう。

吉野梅郷日帰り旅行

けあまり

皆様は吉野梅郷楽しんできましたか？ 私は金欠で申し込めませんでした。



しかし今吉野梅郷ではプラムポックスウイルス

クスウィルス
JNNの問題で
梅の木1万本伐

採の危機に面して
います。私の
住んでる八王子
市の一部も規制
区域に含まれて
おり、小宮町、
久保山町、平町、
滝山町と規制に
入ってしまいま
した。

うちの庭にあ
る梅の木、桜の
木も最悪の場合
根こそぎ伐採し
なければならな
い事態になっ

ます。

吉野梅郷の楽しみだけではなく、苦
しみがなぜか家にも降り注いできてい
ます。早期に事態が収拾すればいいで
すけど、かなり時間がかかるこのこと
で心配です。

プラムポックスウイルス

感染する種

けあまり

サクラ属のモモ、スモモ、ウメ、ネ
クタリン、アンズなど。

感染経路は、アブラムシが媒介する
ほか、感染した苗木などから広がる。
果実からは感染しない。

さよつなら原発

1000万人アクション

けあまり

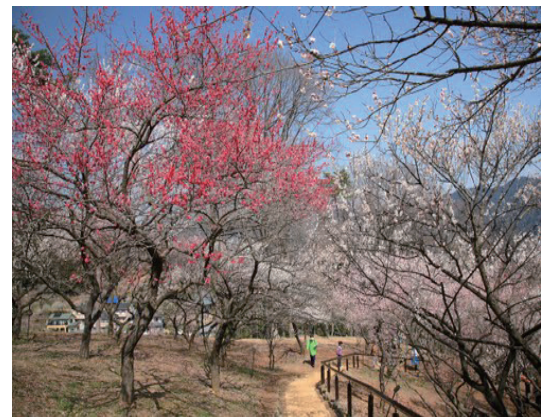
3月24日はさよなら原発1000万
人アクションに参加してきました。

初のデモ参加でしたが、会場つたと
きは、これが本当のデモだという人の
多さに驚きました。開始の時の集い
では6000人デモの時にはさらに
7000人に達していて人の海でした。

集会の方では始めの方で山本コウタ
ローさんのライブからは始まり、最後
は署名と寄せられた手紙の

朗読などもあり全国からの反原発の意
識の高さが解りました。

デモでは早速東電本店前を通る事も
あり、最初からかなりの盛り上がりが
あり沿道の人からの応援もあり無事
ゴールまで歩ききりました。



梅、綺麗に咲いていましたね。

どうなる、どうする 障がい者制度改革

孫悟麺

表題の全国集会がさる7月29日の日
曜日におこなわれました。以前よりい
わゆる市民運動あるいは市民活動の類
は興味も感心もなかったのですが、本当に
軽い気持ちで会場に向かったのです
が、会場前で世間話をしていたように
見えた私服の男たちが、実は公安警察
だったなんていう（本人たちは、無
関係とコメントしていたようですが）
シャレでは済まされないような状況の
中、開幕を待つことと相成りました。
（この件を以て、運動に関心を持つよ
うになった、ということは決してない

ので、悪く思わないでください）

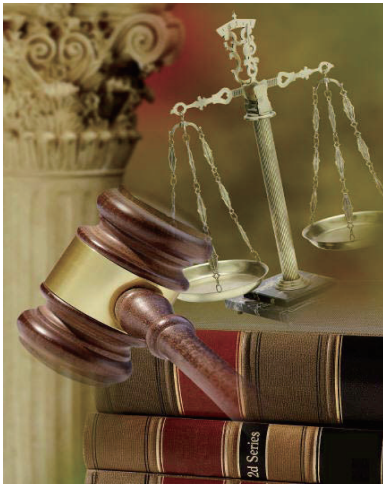
主な内容は、医療観察法の運用に関
する現状と、法律家の立場からの意見
と取り組み、医療観察法撤廃運動に取
り組む団体（鳩「にお」の会）の活動
報告、残った時間で、参加団体の挨拶
など、という構成で行われました。

とりわけ、医療観察法の現状に関す
る弁護士からの報告では、医療現場か
らのツッコミが入って弁護士が返答に
窮するなど、面白い場面もありました。
また、「鳩の会」の世話人の報告では、
まさに世話人の独壇場でした。

5時間という余裕をもったプログラ
ムのはずが、完全に時間オーバーと
なったところに、運動に対する気持ち
の熱さが感じられました。（ほんとス
ペースのアピール時間が、オーバーの
原因の一つということは公然の内緒で
すが）その後、場所を移動し、弁当を
食しながらの談笑。終始和やかな雰
囲気で行われていましたが、ところこ
ろで入院に関する文句も。

全国集会の大体の流れはこんな感じ
です。

さて、医療観察法ですが、この法律、
正式名称を、「心神喪失等の状態で重
大な被害行為を行った者の医療及び観
察等に関する法律」と、非常に長った
らしいですが、要は、刑法39条に該
当する人の処遇について定めた法律で
す。中には揶揄して医療「監」察法と
書く人も少なからずいるようでして：



しかし、自分で改めて医療観察法の条文を見直してみますと、「この法律のどこが問題なんだろう」という疑問はどうしても抱かずにはいられます。むしろ、心神喪失あるいは耗弱者の処遇を定める具体的な方策がなかった事の方が驚きです。ですから、自分が考察する医療観察法の問題は、むしろその運用法にあるのではとみました。

法律とは、多くの役人が言うところの「性善説」に基づいて立法され、運用されているといえます。はたして客観的に見てそう言い切れるでしょうか？役人側から見れば、たとえそれが嘘だとしても、そう言うしかないことはわかっていきます。しかし、こういう運動を通して見たり、ニュースなどで報道されているのを見ていただけでも、必ずしも「性善説」に基づいて運用されているとはいえないのです。

むしろ、一部の役人いわく、「法は運用する人（役人）が常に性善、適用

される人（一般民衆）が性悪」とされるほど恣意的な運用をされることも珍しくありません。

例えば、「予防」と称して、条文（医療観察法に定められた違法行為）に書いていない微罪で引っぱり、強制入院（実際にそうされたケースも今回の集会で発表されていました）させる場合があります。このことは、「治安維持」という大義名分のもとに、少数者を弾圧する、このように捉えられても仕方ありません。

「国民の安全保障」「治安維持」「公共の利益」こういったことは大事なことでだとは思いますが。そういった意味合いでの医療観察法は、必要があつてきたものでしょう。しかしそれは、「小の虫を殺して大の虫を生かす」法になってしまっているのが現実のようです。

統計的にみると、精神疾患者の犯罪率は、健常者のそれよりも低いというデータがあります。（このことには裏付けがあるのですが、ここでは割愛します）もともと精神疾患者の犯罪率は低かったのに、逆に医療観察法のおかげで犯罪率が下がったなどという宣伝が将来なされることも限りません。客観的かつ、冷静に今後の推移を見守って行く必要があると感じた次第です。

終わり。



ほっとスペースハ王子
に入会してからの色々

夕暮れどきのスズメバチ

私は、「ほっとスペースハ王子」に通い始めてまだ日も浅い者ですが、まず、第一の感想として、ここに来て良かったと思います。印象としては、自由な雰囲気というのが感じられますが、それだけではなく多岐に渡るプログラムなどもあり野外活動も積極的にやっているようです。

私も最終的な目標としては一般就労ですが、永年のブランクもあり、まず第一歩としてこの「ほっとスペースハ王子」を自分成りのペースでよく利用させていただいて、次へ次へとステップアップさせていこうと思っています。

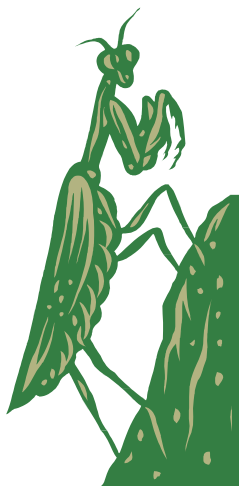
《投稿》短歌

夕暮れに相手を待ちし 蟪蛄の
不動の姿しばし眺める

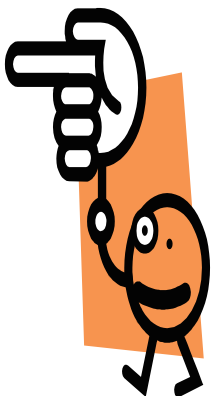
蔓薔薇に 産卵終えし 蟪蛄の
姿探せど ついに見えりぬ

頸痛し 頭上に映ゆる 望月の
淡き光ぞ 押さえつけらる

孫 悟 麴



このあとは、秋山健太郎さんの描き下ろし小説、「ダンシング・クイーン」を掲載します。秋山健太郎さんは、当「ほっとスペースハ王子」会員の中でも随一の健筆家です。かつて、小説家を目指し、今もなお、夢を諦めることなく、執筆にいそしんでいるそうです。



【短編小説】

「ダンシング・クイーン」

秋山 健太郎

僕が車を買ったのは二十歳を過ぎてからだ。弟が、「お兄ちゃんぼく恥かしいよ。毎回友達に車に乗せてもらうのが嫌なんだ」

弟の友達は水色のワゴンに乗っていた。その頃、僕も弟もテニス・スクールの通っていた。弟と僕は同じくらいの腕前で、上級者コースに籍を置いていた。町田市の大会で3位に入ったこともある。ずっと後になってから日野市の大会でベスト4になったこともある。

弟は短気でずいぶん乱暴なコースギリギリに球を打ってきたけど、僕は平気だった。

僕は球が落ちてから急に角度を変えてキックする、スピンサーブを会得したかったのだけれどなかなかうまくいかなかった。僕は幾時間となく心ゆくまで乱打を続けることを好んだ。フォアはボルグを真似てトップスピン、バックはフラット、トップスピン、スライスを打ち分けた。弟は将来テニスコーチにならないかと誘われていた

が、本人にはその気はまるでないようだった。大学でサークルを作ってキャプテンをしていた。よく車で弟とそのガールフレンドと連れだって、テニスに出かけた。感じのいい子で、何時もにこにこしていた。恋人同士のように親しかった。僕のガールフレンドは、テニスをしなかった。

そこで僕は免許を取ることにしたが、仕事が忙しいのと、夜の予約はなかなかとれなかった。1週間に1回くらいしか教習所に通うことができなかった。行ったときには、もう、前のことは忘れていた。そんな調子で、免許を取るのにずいぶん時間がかかった。

半年ぎりぎり料金も通常の倍もかかった。こんな風景を想像してほしい、場所は海。空に積乱雲が浮かんでいる。男の子は真ん中で分けた髪の毛で、彼女をじっと見つめている。腕には銀色の時計。白いティーシャツにジーンズ。黄色い初代シビックのボンネットに両手を組んでいる。目の前には、ほっそりと背の高い女の子が立っている。花柄のミニスカートを着ている。髪の毛

は長く亜麻色をしている。車のミラーもバンパーもシルバー。丸いライト。ホンダの赤いエンブレム。

そんな訳で月賦でホンダシビックを手に入れた。納車まで1ヶ月もかかった。運転のしかたを忘れてしまつたのではないかと心配になったほどだ。実際取りに行ってみると運転できそうになった。

店員に

「困ったよ。運転できそうにないよ」と言うつと、

「大丈夫ですよ。何とかなるもんですから」

そんなものかと運転して帰ったものの、ゆるゆるとしか走れなかった。マニュアルで運転しづらかった。オートマ車も売っていたけど、シビックにオートマはなかった。同乗していた弟は怖がって悲鳴を上げていた。生来車には弱く、子どもの頃、隣の印刷屋のお兄さんに車に乗せてもらった時にも、ひどく酔って家に帰って、残らず吐いてしまったほどだ。布団に横になってグッタリとなって寝ていた。せっかく上寿司を奢ってもらったの

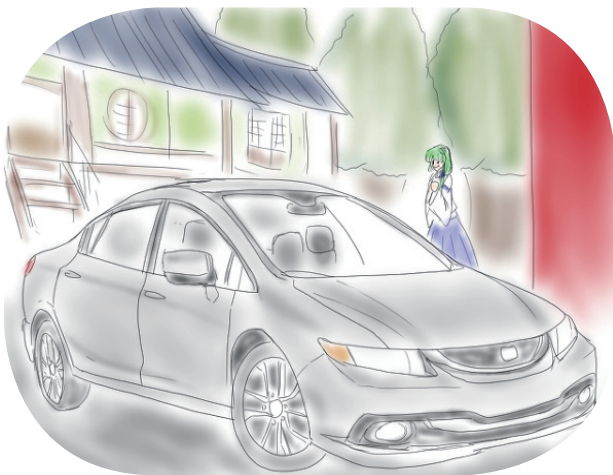
に。

小学校の修学旅行で日光に行った時にもひどい目にあつた。だから車には興味が持てないでいた。それで、学生時代にも免許はとらなかった。

* * *

僕が彼女と知り合ったのは、僕が通っていた歯医者だった。彼女は受付をしていた。髪の毛はサラツとしていて長く、愛想がよかった。どの人ともこやかに丁寧に対応していて、たぶんみんな彼女に好意を寄せていただろう。とても目のきれいな女の子だった。笑顔が僕の心を和ませた。背は160センチくらい。

話を個人的にするようになったの



は、駐車場で会ったときだ。

「今度一緒にお茶でも飲まないか」と聞くと、思いがけず

「いいわよ、お茶くらいなら。これから行きましよう。あなた都の教員をしてるのでしょうか。変なことしないわよね」

「もちろん」

教員をしていて得をしたのは初めてだった。一応、社会的信用があるらしい。

彼女はニッサンのグロリア、僕は黄色のシビック。

「僕の手でいい？」

近いから車置いてくるわ、一緒に追いついてきて。彼女の住んでいるマンションまで、15分くらいだった。歩いたって通える距離だ。ドライブが好きなのかもしれないと思った。

彼女を車に乗せ、近くの喫茶店でお茶を飲んだ。本当はビールがのみたかったけれど、やめておいた。教員が昼間からビールを飲むなんて常識外れだと思ったし、酒気帯び運転だ。

「何教えてるの？」

「国語」

「あの訳のわからない文法も教えるの？」

「一応ね。国語の教員だからね」

「あなたどこでそれ習ったの？」

「教員になってからだよ。中学校の時は習わなかったし、大学の文法論は眠たくなっちゃうし。教員になってから

12品詞を一晚で覚えた。古典の文法と同じさ」

「面白い？生徒はちゃんと聞いてくれるの？生徒はおとなしくしてる？わたしは耐えられないわね」

「一応は聞いている分りはするけど」

「なかなか定着はしないね」

「ティチャク？そんなもの、ティチャクなんてする訳ないでしょ」

「まあね、いろいろあるよ」

しばらく黙ってお茶を飲んでみた。

「君は大きな車が好きなの？グロリアに乗ってるから」

「あれは、お母さんの車よ。お母さんは好きらしいわ」

「でも、君が乗ってるじゃない」

「お母さんは電車通勤してるの」

僕は今度、ドライブに行こうかと誘ってみた。

「いいわよ」

「富士急ハイランドがいいわ」

僕は高いところが苦手なんだけれどと言つと、乗らなければいいじゃないと彼女は言った。

「今度の日曜は暇？」

「空いてるわよ」

僕はユーミンの中央フリーウェイの曲を流しながら運転した。とても幸せな気分だった。

彼女も曲に合わせてながら小さな声で歌っていた。澄んだいい声をしていた。

「合唱部にもいたの？」

「どうして？」

「素敵な声だから」

彼女はほんのりと頬を赤らめ、歌は好きだけれど合唱に興味ないわ、と答えた。

それから大滝詠一だの、来生たかお、松田聖子など、スタンダードジャズだの、サーファーガールだの、エディットピアフなど、いろんな曲を二人で聞いていた。

「アバの曲はみんな好きだわ」

「そう」

彼女は小さな鞆からアバのテープを取り出して、そっと僕に手渡した。

僕はかかっていたカセットとり、アバのテープをかけた。リズムカルな曲が流れた。

「いい曲だね」と言つと、彼女は肯いて、今度一緒にデイスコに行こうと誘った。

遊園地は、思ったほど混んではいなかった。

彼女と二人きりで歩くのが楽しかった。彼女はジェットコースターに乗り、その他僕の苦手な、空に聳える乗り物に乗り興奮して帰ってきた。僕はそんな彼女をベンチに座って眺めていた。幾分かタバコを吸い、ガムを噛んだ。

「楽しいわよ、あなたもどう？」

「いや辞めておくよ」と僕は言った。

「あなたの好きなことは何？」

「例えば？」

「運動なんてやるの？」

「運動は好きだし色々やるよ。テニス、スキー、走り高跳び、少林寺拳法、市の体育館で筋トレもしているし」

「ずいぶん沢山運動してるのね。わたしは駄目よ。運動音痴なの」

「君だってスクールに通えば出来るようになるよ。僕が教えてあげてもいいよ」

「だってお仕事忙しいんでしょ？」

「日曜日は暇だよ」

「テニスは、誰とするの？」

「弟と彼のガールフレンド」

「上手なの？」

「普通だよ。適当に打っていれば、自然とボールは飛んでいく」

「走り高跳び今でもできるの？」

「だぶんね」

「やって見せてよ」

「どこで？恥ずかしいよ」

「いいじゃない。誰もあなたのことなんか気にしていないわよ」

僕は軽く屈伸をして、アキレス腱を伸ばすと、人のいない方角を目指して飛びながら走った。ジャンプ、自分でも思ったより強く跳べたと思った。空中で両足を交差させ、腕は頭上に軽く伸ばし1回転する。着地。地面に軽く転がる。ちょうど1メートル60センチ。

それが僕の限界だった。坂口安吾だってこれ位は跳べる。小、中、高、一貫してそれ以上跳べたことはなかつ

た。走るのも大好きだったが、体重が軽すぎて、いくら懸命に走っても 12 秒 5 を切る事はできなかった。女の子

だって僕より速く走れる。中学校の時には高跳びも走り幅跳びもハードルも、僕が一番だった。全校の生徒が、窓から顔を突き出して、僕が跳ぶのを眺めていた。けれど高校に入ると、僕より高く跳べる生徒はいくらでもいた。バスケットボールの男の子たちは、軽々と僕よりずっと高く跳んでいた。彼女は少し心配して、僕の方に駆けてきた。

「大丈夫？」

「全然」

「すごいぶん高く跳べるのね。でも、素敵だったわよ。」

「満足した？」

「ええ。大満足よ」

それから、二人はごく自然に手をつないで何処ということもなく歩いた。店屋に入ってコーラを飲んで話をした。

初恋の話になった。

「初恋はいつ？」

「高校時代」

「わたしは中学校時代」

「同級生か先輩？」

「先生。大学を出たばかりの背の高いハンサムな先生だったわ」

「教科は」

「当って御覧なさい」

「英語か体育」

「はずれ。国語よ。あなたと同じ」

「だって君は国語が嫌いなんだろう？特に文法が」

「嫌いじゃなかったわよ。文法だってきちんと家で復習したし」

「好きだって、言ったの？」

「ええ。卒業したあとにね」

「付き合った」

「ええ、少しだけ。一年間くらい。毎日とても幸せだったわ。でも先生には恋人がいて結婚したわ。私は泣いて訴えたわ。警察に行くって脅したの。先生は困った顔をして、済まないと言った。君の気が済むのなら訴えてもいいし、警察と一緒に行ってもいいと言ったわ。先生を許せない。そう言うてあるだけの罵詈雑言を浴びせてやったわ。もう恋なんて、

し

な

い

嘘つきだって言ったわ」

「それで別れたの？」

「ええ、長い手紙を書いてね。高村光太郎の書いた詩を添えてね」

「光太郎が知恵子に贈った長い詩だね。嫌なんですっていう。別れないで欲しいっていうやつ」

「そうよ。それでお仕舞い。永遠にお別れしたわ。わたしは深く傷ついたわ」

しばらく彼女は黙っていた。先生のことを思い出していたのか知れない少しして、ほっとしたように微笑んで、

「あなたの初恋は？」と聞いた。

僕は、ほんのちょっと躊躇ってから、話をはじめた。

高校時代、3 年生の冬。背の高いほっそりとした女の子。毎日、歩いて図書館まで出かけたこと。初めてのキス。手をつないで歩いたこと。彼女は短大の国文科に受かったこと。僕は志望校に落ちて、浪人が決まっていたこと。

別れ際に、黙って抱き合って彼女の裸の乳房にそっと触れたこと、そして優しく口づけしたこと。長い間お互い見つめ合って、それから又キスをしたこと。動物園の昆虫館に出かけたこと。

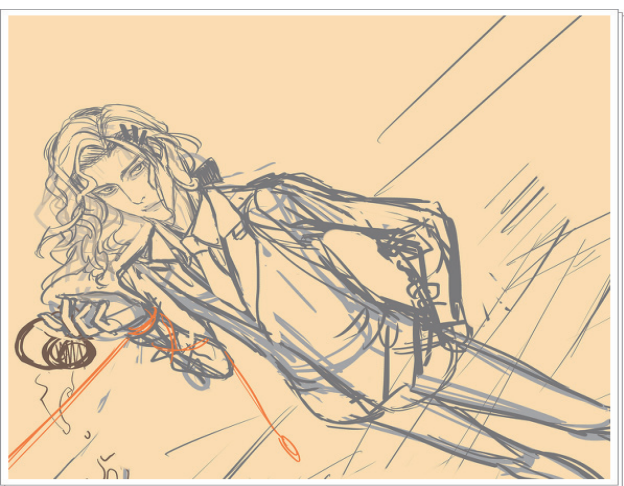
別れ。その時の絶望感。自分一人が、地上に投げ出され、泥沼のような疲弊感に陥って、地の奥底に幽閉され、声も出さずに激しく泣いたこと。夜になると決まって眠れなくなったこと。勉強を放棄して、レコードばかり聞いていたこと。夕方ふらっと動物園に行くと、駅の構内でじっと丘陵を眺めていたこと。彼女は、とてもしじみ蝶が好きだったこと。じっと空を見つめていると、昆虫館でしじみ蝶が温められ、空に向かって飛び始めたこと。隊列を組んで、紫色の空にしじみ蝶の群れがダンスをしているかのように飛んでいる様を見つめていると、たまらなく切なくなること。最終の電車に乗って、思わず体が寒くなり熱が出たこと。その後、志望校に入れば、彼女はもう一度会ってくれるかもしれないと思っ

て、一日 12 時間勉強したこと。

当初、志望校合格への偏差値は半分にも満たないお粗末なものだったけれど、徐々に上がっていき、冬の頃には 80% を越え、無事に合格できたこと。そして夏の頃、ようやく勇気を出して彼女に電話して会ったこと。彼女は昔のまま、変わらず元気で、笑顔がきれいだったこと。そして一枚の写真を見せてくれたこと。写真には黒いビキニの彼女が、ぼくを挑発するかのよう微笑んでいたこと。志望校に入学できたことを告げると、彼女はとても喜んでくれたこと。

.....

「その夜、僕は彼女の声を聞いた。僕を挑発する声だ。＊＊君、わたしとしたい？」と彼女は舌を出して唇をな



め、来てと誘った。そう、急がないでね。ゆっくりとなめて。いいわ。感じるわ。あそこもよ、ゆっくりなめて、吸って、舌を使ってもっと強く、彼女は僕の名を呼んだ。僕も彼女の名を、夢中になって呼び続けた。熱い彼女の吐息が、耳にかかった。

彼女の声が高まり、喘ぎ声に変わった。来て。最初はゆっくりと入れて。そう、突いて。もっと激しく、僕は腰を揺さぶり激しく貫いた。彼女の中は潤っていてとても温かった。

僕は彼女の中へ大量に射精した。僕はぐったりとなり、ジョン・レノンのドウント・レット・ミー・ダウンを何度も繰り返し聴いた。ドウント・レット・ミー・ダウン。がっかりさせるなよ。ドウント・レット・ミー・ダウン。落ち込んでしまうから。あの子が恋しいんだ。ほんと。ジョンは泣いていた。魂の底から。

自然と涙があふれ出てきた。また僕は一人きりになった。たまらないわびしさと切なさを噛みしめた。大学は辞めようと思った。ドストエフスキーの「白夜」を読み返しながら。人生の悲しみや孤独を真に知っているのは、この人たちだと心から思った。それからしばらく大学にも通わなかった。友達に電話して、自分の間休むから、適当にやっておいてくれと頼んだ」

「ふーん。あなたも深く傷ついたのね。心配しなくてもいいわ。わたしは、あ

なたを深く傷つけたりしないから。あなたも、そうでしょ？」

「僕もしない」「行きましょ。次はあなたも乗れるものを探しましょ」

行き交う人たちは、みんな幸福そうだった。僕も幸せに満ちていた。ゆっくりと歩き、乗り物を探した。

乗り物はすぐに見つかった。

ウォータースライダー。みんなキアーカーと歓声をあげ、楽しそうだった。

「これなら、あなたにも乗れるわよね？」

「楽しそうだ」

僕たちは順番を待ちながら、あれこれと話を続けた。僕のくだらない冗談にも、嫌な顔もせず（たいていの人は馬鹿にしたように笑った）、まるで新しい発見でもしたかのように眉毛をあげて瞳を大きく見開いて、ほほ笑んでくれた。素敵な笑顔だ。

10分もすると順番が巡ってきた。

彼女が前の席に座り、僕はすぐ後ろの席に座った。安全ベルトを締めると準備は完了した。

ウォータースライダーは、想像以上に楽しかった。彼女が目の前にいることで、心が安らいだ。僕もみんなに交じって歓声をあげ、満ちてゆく幸福に身を包んだ。

思いがけぬ瞬間が訪れたのは、かく

んとスライダーが大きく傾き、揺れた時だった。

僕は思わず彼女にしがみついてしまった。気がついた時にはもう手遅れだった。

僕の手のひらは彼女の胸にあった。しかも乳房の上に。彼女の乳房は思っていたよりも大きく、そして柔らかく、温かった。

乗物から降りると、僕は彼女に謝った。

「いいのよ、気にしないで。少し痛かったけれど」と彼女は、そう言って、僕を許してくれた。

それから腕を組んで僕は歩いた。

昼食にはスパゲッティを食べ、ビールを1杯ずつ飲んだ。

アバの曲をかけながら高速を帰った。

「今度、卒業した大学の講堂で、講演会があるんだけど行ける？」

「何時？」

「水曜日の夕方から」

「じゃ、駅で待ってるよ」

電車に乗って大学まで行き、講演会を聞いた。金井美恵子、つかこうへい、中上健治。講演会は、おおむね退屈だった。

「つかこうへいの劇は、観たことあるの？」

「友達で演劇が好きなのがいて、一緒



に何度か」

「まあまあだね」

「今度連れて行ってくれる？」

「いいよ」

僕は、文学部の学食でカレーライスを食べた。

「いつもこんなに冷えた、まずいものを食べていたの？」

「安いからね」

「バイトだっと思ってたんでしょ？何で、もっとましなものを食べなかったの？」

「ほとんど、本とレコードに消えてしまった」

「金井美恵子って誰？」

「詩人」

「読んだことある？」

「たいていの詩集は全部読んでる」

「分かる？」

「分かるのもあるし、分からないものもあるけど、分からないものの方が多い。」

「ここの大学の仏文に窪田般弥っていう詩人がいる」

「好きなのね？」

「うん。とても尊敬している。無花果っていう詩が特に好きだ」

「言える？」

「たぶん」

「言ってみて」

「今日という一日を詩と取り替えるその日のために」

来る日来る日の数を増やして

それが何になろう

無花果の花は咲きたり

天の陽も知らず陰りの中に」

「違っている所もあるかもしれないけれど」

「天の陽も知らずってところがいいわね」

カレーライスを僕は全部食べ、彼女はほとんど残した。

僕は、何度もディスコに通った。

僕らの住んでいる街には、ディスコ

が無かったので、都内まで出かけて行った。

彼女のダンスは、とても自然で清楚だった。ゆっくりと音楽に合わせて時に静かに、時に激しくダンスをつづけた。見ていると心が和み優しい気分になれる。

ミニスカートの時折り翻った。誰かに誘われることも何度もあった。その度に、ほほえんで僕に向かって手を振った。僕も軽く手を上げてそれに応えた。

彼女は帰ってくると、僕の隣に座って、

「いつまでそうしているの？」

「そういうの知ってる？壁のしみって言うのよ」

「カベノシミ？」

「そう。壁のしみみたいにじっと壁にもたれているの」

「ダンスは苦手なんだ。保育園のとき舞台に立った。恥ずかしさで真っ赤になって、体が凍ってしまった。それからダンスは踊れない」

「トラウマっていうやつ？」

「そうらしい」

「ぶーん。まあ、いつかは踊れるようになるわよ」

僕はビールを飲み、彼女はカクテルを飲んだ。

「チークなら出来るわよね？」

「やったことないけど」

「ただ立ってればいいのよ。踊る必要

なんかないわよ。抱き合っていればいいだけよ」

「たぶん出来ると思う」と僕は答えた。

チークタイムになった。

彼女と手をつないでフロアーに立った。

心安らく時間だ。初めて経験する。そっと彼女を抱いた。彼女も、僕の背中に腕をまわした。彼女の髪の毛がらかぐわしい香りが漂った。二人はぴったりと寄り添って、静かに目を閉じた。

ずいぶん長い時間二人は、動かず抱き合ったままだった。

その時だった。硬い空から雨が一筋、地面に引かれたローセキのすじのように、天からゆっくりと降りてくるのが感じられた。時折り風に揺すられ、裸の白いくしのような梢から、あきらめきった眼差しで、それでも宙に吊下がるようにして、一筋の雨が降ってきた。僕は徐かに腕を差しのばした。その雨が、胸の中に沁み込んで来るのを感じていた。

僕は彼女から少し離れると、軽くステップを踏んでから踊り始めた。

「何？踊れるようになったみたいじゃない。素敵よ」

僕たちは踊りを十分に堪能した。席に戻って又、お酒を飲んだ、僕はウォッカのカクテル。彼女は軽いカク

テル。

* * *

クリスマス・イブの夜は、福生にあるおいしいと評判の店に予約しておいた。

僕車で、彼女のマンションまで迎えに行った。彼女は、髪の毛をアップにして、やけにめかしこんでいた。

「今日も素敵だよ」

「そう？」微笑んで、彼女はそう言った。僕はケントのハイネックのシャツにブレザーを着ていた。

行きには、僕が勝手に呼んでいる抒情的ジャズを流した。古い曲だ。レフトアロン、アイフォール・イン・ラブ・

ツー・イージー・プアー、バタフライ、ボディー・アンド・ソウル、ムーンナイト・セレナーデ等。

曲が終わらない内に店に着いた。店は賑わっていた。若い恋人同士のカップルが多かった。きれいにイルミネーションが施されていた。

赤のワインを一杯ずつ頼んだ。

「メリー・クリスマス」そうお互いに言って、グラスを当てた。快い響きが瞬時した。

食事はとてもおいしい。僕は、彼女に小さなポインセティアと、ティンベアと、森有礼の「バビロンの流れのほとりにて」を贈った。彼女は、ジャズのレコードを贈ってくれた。僕が聴いた

曲は入っていないかった。

「とても嬉しいよ」と僕は言った。

「わたしも」

「本はすごくきれいな文章なんだ」

「そう。有難う」

「ポインセチアの花ことを知ってる」

「あなたの幸せを祈る」

「わたしもあなたの幸せを願っているわ」

食事を終えて、マスターにとってもおいしかったよと伝えると、僕らは店を出て車に戻った。車のヒーターはなかなか暖まらなかった。けれど、僕は、ぼかぼかに暖かかった。

自然と二人の唇が合わさった。舌をからめて唇を吸いあつた。とても甘いくちすけだった。こんな経験は初めてだった。

「きみは、キスがとても上手だね。こんなのは初めてだ」

「あなたも、とても上手だわ」

また、キスをした。今度は軽く。

車が暖まったので、そっとアクセルを踏んだ。

彼女のマンションにはすぐに着いてしまった。

エンジンを切り、一緒に手をつないで歩き、彼女のマンションまで送った。「今晚は、とても楽しかったわ。ありがとう」

「僕も。じゃ、お休み」

「またね」

車に戻ると、エンジンをかけ、しばらくぼんやりしていた。夜空は満月で、煌々ときらめいていた。ふと、僕は何かやり切れない気持ちになった。

車を出した。ふっと、僕はたまらない思いにかられた。何か忘れ物をした気分がした。

甘い。苦い。とても切ない。恋しい。狂おしい程恋しい。仕方ない程切ない。たまらなくなる程切ない。今すぐにも彼女のマンションに引き帰り、チャ

イムを押して、彼女を呼びだし、思いのゆくまで抱きしめたい。そうして揺るがしがたい欲望に、僕はかられた。「月と星は天の穴」吉行淳之介の小説だ。甘く苦い恋物語。恋人がいても孤独なんだ。彼女は心の傷をそっと癒してくれるだろうか。

彼女の置き忘れた「ダンシング・クイーン」を聴きながら、僕は溢れ出てくる涙を止めることはできなかった。また、別れの時がやって来るのだろうか。彼女は、僕と結婚してくれるのだろうか？

原稿募集

ほっとスペースでは、会員による原稿のみならず、「ほっと」ニュースの読者様各位による投稿も、大々的に受け付けております。私事、ニュースなどの論評、書映画レビュー、詩や小説、和歌に俳句、狂歌に川柳、漫画にイラストにいたるまで、幅広く受け付けております。締め切りは決まっておりません。「我こそは」と思われた読者のみなさんは、ぜひご投稿お願いいたします。投稿方法は、郵送、e-mailどちらでもかまいません。あて先は、〒192-0053 東京都八王子市八幡町13-2 ふくしまやビル2F「ほっとスペース八王子」宛にお願いいたします。メールでのご投稿は、CXBO1672@nifty.ne.jp です。「ほっと」ニュース掲載の際、匿名を希望される方は、「匿名希望」明記されるよう、お願いいたします。(その際、ペンネームなどを決めていただけると、編集者としては、とてもうれしく思います) 編集部へのコンタクトは、メールまたは表紙記載の電話番号、Facebook にても受け付けております。それでは、読者の皆様のご支援、ご協力を是非是非ともよろしくお願い申し上げます。(編集部)

《編集後記》

あけましておめでとございます。

遅ればせながら、NPO法人「ほっとスペース八王子」が発足し、いよいよ2013年度より法内事業所として再出発する運びとなりました。

会員、職員一丸となって運営していく事になりますので、皆様方の変わらぬサポート、よろしくお願い申し上げます。(S)

昨年12月の総選挙においては、自公政権が過半数をはるかに超え、全議席の3分の2をも超える絶対多数を獲得した。これについては様々な視点から多様な意見があると思うが、障害者権利条約と制度改革、障害者差別禁止法・総合福祉法の今後など一挙に不透明になったといわざるおえない。予断は許されない。(T)

140号と141号の合併号となりました。また、さて、昨年の衆議院選挙で自公が大勝民主党が57議席まで落ち込みました。自公・安倍政権はマスコミの報道を見る限り、参議院選挙を控え、安全運転を心掛けているようで、持論の「憲法改正」「国防軍の設置」「軍備の拡大」等については封印しているようだ。しかし、憲法を変え、自衛隊を国防軍にして軍備の拡大に走れば社会保障費の大幅なカットは必然であろう。社会的弱者である障害者・高齢者へのしわ寄せは目に見えている。そんなことにならないよう皆で力を合わせよう。(Y)

訳あって、編集に関わるようになりました。自分が関わったからには、発行ベースもどんどん上げて…という具合に行きたいところですが、果たしてどうなることやら…なるべく記事よりもイラストなどの方面で活躍したいです。(S・G)